

Produced to assure your safety.

ASSURA®

リモコン付き サンバイザー対応GPSソーラーレーダー探知機

GA-3000

取扱説明書



micro
CELLSTAR®

ご購入のお客様へ

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。
尚、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

初めてお使いになる場合や、バッテリーの充電が必要な状態になった場合は、必ずDCコードまたはACアダプターでの充電をおこなってください。

本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。

速度の出し過ぎに注意して走行してください。

また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービスについて

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■表示内容を見誤って誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
	警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害 [*] の発生の可能性が想定される」内容です。 ※物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この表示は、必ず実行していただく「**強制**」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。

 この表示は、してはいけない「**禁止**」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。

 この表示は、気をつけていただきたい「**注意**」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険

 本製品はDC12V専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。

 走行中に本製品の操作や画面の注視をしないでください。
※交通事故の原因となります。

 万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。
※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。

 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

 煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないでください。
※発火して火災の原因となります。

 水につけたり、水をかけたり、又、ぬれた手で絶対に操作しないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。

 子供・乳幼児には手を触れさせないでください。
※ケガや感電など、思わぬ事故の原因となります。

注意

 穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
※感電や故障の原因となります。

 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

 夏の炎天下、真冬の駐車の際は本製品を取り外してください。
※性能の劣化、本体の変形、ディスプレイの表示不良などをまねく原因となります。

 一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本製品が鳴り続ける場合があります。

 本製品を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

 microSDカードの挿入、取り外しをするときは、microSDカードスロットに顔を向けないでください。
※ケガの原因となります。

警告

 運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能（ブレーキ、ハンドルなど）の妨げにならない場所に取り付けてください。
※誤った取り付けは交通事故の原因となります。

 エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。

 ※万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。

 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。

 ※感電やショートによる発火の原因となります。

 本製品は精密機器です。分解や改造は絶対にしないでください。

 ※発熱、火災、ケガの原因となります。

 ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。

 ※火災や感電、故障の原因となります。

はじめに	2
安全上の注意	2
もくじ	3
使用上の注意	4
同梱品の確認	6
各部の名称と機能	7
本製品の設置	9
本体の取り付け方法	9
リモコンの取り付け方法	12
microSD カードの使用方法	13
本製品の起動	14
内蔵バッテリーについて	14
充電方法	15
電源を入れる	18
電源を切る	18
ディスプレイの説明	20
ディスプレイの見方	20
GPS 警告動作例	22
GPS 警告時のディスプレイ表示	23
各種無線警告時のディスプレイ表示	25
レーダー波警告時のディスプレイ表示	28
各種機能の設定	29
各種機能の設定一覧	29
ディスプレイ表示の設定	32
音量の調整	36
マナーモード	36
ミュート機能	37
BEST セレクト機能	37
各種機能の説明	40
ハイブリッド型 L.S.C. 機能の動作	40
レーダー波受信感度オートの動作	41
ロード自動選択機能	41
パワーオート切り替え機能	42
オートトーンダウン/オートディマ機能	42
エリアタイムディマ機能	42
レスパイトオートミュート機能	42
GPS 測位について	43
便利な機能	44
スキップ機能	44
ユーザーメモリー機能	45
GPS 警告ポイント消去機能	46
レーダーキャンセルメモリー機能	47
通過速度履歴確認機能	48
1 キロ圏内サーチ機能	48
反則金データベース表示機能	49
追跡表示機能	49
飲酒運転警告機能	50
日差し注意機能	50
速度アラーム機能	51
時報アナウンス機能	52
安全運転アナウンス機能	52
GPS データ更新機能	53

ディスプレイモード	54
本製品の全リセット	54

故障かな？と思ったら

アフターサービスについて

保証書について	58
修理を依頼されるとき	58
リモコンの紛失について	58
GPS データの更新について	58
個人情報に関して	59
新設速度取締機、Nシステム、 取締りポイントの情報提供のお願い	59
各地域のお客様相談窓口一覧	59
仕様・定格	60
オプション品	60

本書に記載されている警告時などの表示画面は、グラフィック警告の場合のものです。

GA-3000 の 3 つの便利な機能



イオス：Effective Operation System

心地よく、効率の良いドライビングサポートを実現させる新システムを採用。GPS 情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的に走行速度に合わせた警告内容を判断します。走行状況によりボイスアシストの内容が変化するなど、快適な使用感をご提供いたします。



ピー・キャン

常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアなどによるレーダー警告音や取締機の撤去などで必要のなくなった GPS 警告音を、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。



ベストセレクト機能

新発想の「BEST ボタン」をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード（全ての警告動作を実行）」「標準モード（お薦めできる標準的な設定）」と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード 1（初期設定が高速道向け）」「マニュアルモード 2（初期設定が一般道向け）」の 4 つを状況に合わせて切り替えることで、より便利で簡単にご使用いただけます。

使用上の注意

- 本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも、速度の出し過ぎには注意して走行してください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲りください。
- 運転中に画面を長く注視しないようにしてください。画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。交通事故の原因となります。操作は必ず安全な場所に停止させておこなってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最小限としてください。
- 本製品は、本製品に登録、記録されたデータ、およびGPS信号、レーダー波を含む各種無線を受信し、それを基に独自に計算されたデータを利用して警告をおこなっています。そのため、登録記録されていない地点や、GPS測位が不安定、未測位の場合、および各種無線が受信できない場合には、警告動作を行うことができません。また、警告内容と実際の状況などが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部の車種において付属のシガーライター用DCコードが、お車のシガーライターソケットの形状に合わない場合があります。
- 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本製品がGPS測位をできなくなることがあります。これは故障や不良ではありません。
- 本製品は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETCなど）や電源/ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合やGPSを含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本製品の設置位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。これは故障や不良ではありません。その場合には、十分間隔を取って設置してください。
- 光電管を使用した有人式の速度取締りがおこなわれている場合、その取締りに対して警告することができません。あらかじめご了承ください。

内蔵バッテリーの消耗について

- コードレスで使用する場合、警告・無線受信の頻度、設定内容などによっては内蔵バッテリーの消耗が激しくなります。

ソーラー充電について

- ソーラーパネルでの充電は、あくまで補助的な充電となります。内蔵バッテリーへの充電の際には付属のDCコードまたはACアダプターを使用してください。

防水について

- 本製品は、防水構造ではありません。取り付けは必ず車内へ設置してください。

熱反射ガラスについて

- 一部の車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号やレーダー波、各種無線の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両ディーラーやメーカーへお問い合わせください。

GPS 警告について

- 本製品に登録されている各種GPSデータは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考集計、作成されております。

- GPS警告ポイントが複数隣接している場合、そのいずれかに対する警告が優先されます。そのため、それ以外に対するGPS警告ができない場合があります。また、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

事故多発エリアについて

- 警察庁、国土交通省の統計データにより集計していますが、集計の時期、またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。
- 首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

警察署／交通警察隊について

- 移転、新設などがあった場合、本製品でのお知らせと実際の状況が異なります。

急カーブについて

- 本製品でお知らせする急カーブは、当社独自の調査により、登録しているものです。したがって、急カーブであると思われる場所であっても、お知らせしない場合などがあります。

駐車禁止エリアについて

- 本製品に登録されている駐車禁止エリアは、公表されている取締り活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。したがって、駐車禁止の標識やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所であってもお知らせしない場合があります。

取締りポイントについて

- 取締りポイントの警告は、取締りの目撃情報に基づいて、本製品に登録されたエリアに対しての警告であって、実際に取締りがおこなわれていることに対しての警告ではありません。また警告の前後で取締りをおこなっている場合もあります。あらかじめご了承ください。

盗難多発エリアについて

- 盗難多発エリアは、公表されている犯罪マップを参考に車両盗難や車上荒らしの多発地域を登録しています。実際に発生した地域であっても、警告しない場合があります。

凍結注意アナウンスについて

- 凍結注意アナウンスは、独自調査による、道路凍結しやすい地点、期間でお知らせします。実際の路面状況に応じたお知らせではありません。あらかじめご了承ください。

制限速度について

- 本製品でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応しておりません。また、普通自動車に対する制限速度をお知らせします。
- 制限速度切り替わりポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切り替わりはお知らせしません。また、ピンポイントでお知らせするものではありません。

簡易マップについて

- 本製品で表示する簡易マップは警告中のポイントに対するもので、実際の走行中の道路と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 簡易マップは取締機のみ表示します。

使用上の注意 (つづき)

日差し注意機能について

- 日差し注意機能は実際の天候にかかわらずお知らせします。

無線受信機能について

- 受信した内容を第三者に漏らしたり、その内容を窃用することは、電波法第五十九条により禁じられています。
- 受信電波がデジタル通信の場合は、音声聞くことができません。
- 受信しても、無線内容がない場合や短い場合があります。
- 一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信できない場合があります。
- 各種無線は常に使用されていません。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。
- ヘリテレ無線の受信は、ヘリコプターから無線中継所への送信電波です。
- ヘリテレ無線の無線中継所付近では、ヘリコプターの接近にかかわらず、受信する場合があります。
- レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を連続的に、または、頻繁に受信する場合があります。
- 本製品は一部のレッカー業者に割り当てられている簡易業務用無線を受信します。そのためそれ以外のレッカー業者が使用している無線を受信することができません。
- 署活系無線はチャンネル数が多く使用頻度も高いため、連続的な受信や、頻繁に受信する場合があります。

カーロケータシステムについて

- カーロケータシステムは全ての警察関係車両に搭載していません。また搭載されていても常時電波を発信していません。
- カーロケータシステムの受信については導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

レーダー波受信機能について

- 一部の自動ドアなど、速度取締機と同じ電波を使用している機器があります。その場合、本製品でレーダー警告をおこなうことがあります。これは故障ではありません。
- 設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、レーダー波を使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。
- ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせすることができません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。
- 大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。

パワーオート切り替え機能について

- お車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、電源が切れない場合があります。使用しない場合には本体の「電源スイッチ」で電源を切ってください。

ロード自動選択について

- 現在の走行状態が一般道が高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際の状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。

ディスプレイについて

- ディスプレイで長時間同じ映像を表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、表示跡が残る「焼き付け*」が発生する可能性があります。これらはディスプレイの特性によっておこる現象であり、不良や故障ではありません。
（※焼き付けは完全に消すことはできません）
スクリーンセーバーを使用したりディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減させることができます。
本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイの中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらはディスプレイの特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。
本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。
お車に設置する際には、ご注意ください。

microSD カードについて

- microSDTM は SD アソシエーションの商標です。
- その他、本書で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお本書では、TM、® マークは一部明記していません。
- 本製品は、使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。
microSD カードを使用する前に必ずデータのバックアップを作成してご使用ください。
なお本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されたと著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

ジェルマットについて

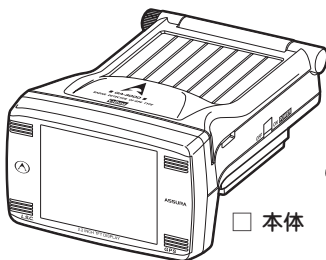
- ジェルマットは剥がしても接着跡が残りにくく、粘着力が弱くなった場合、表面の汚れを洗い落とすことで粘着力が復活し、再使用することができます。
傾斜している場所への取り付けなど、ジェルマット使用での取り付けが不安定になる場合は、付属の両面テープを使用して、確実に取り付けてください。

AC アダプターについて

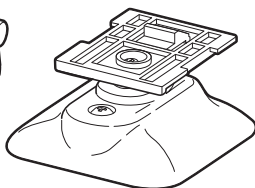
- 付属の AC アダプターはセルスター製レーダー探知機専用です。ほかの製品などには絶対に使用しないでください。

同梱品の確認

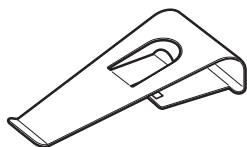
はじめに、同梱物の確認をおこなってください。



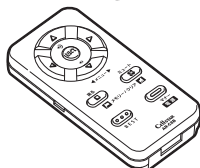
□ 本体



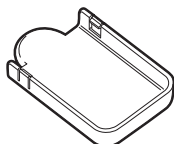
□ マウントベース



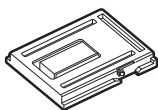
□ サンバイザークリップ



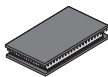
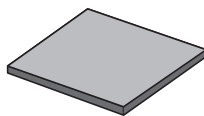
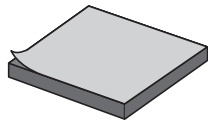
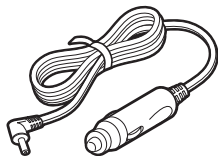
□ リモコン



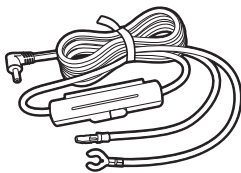
□ リモコンホルダー

□ リモコンホルダー
取り付け用両面テープ

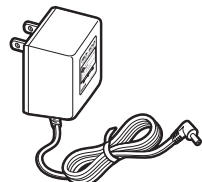
□ プレート

□ プレート取り付け用
固定テープ□ ダッシュボード
取り付け用両面テープ□ ダッシュボード
取り付け用ジェルマット*

□ シガーライター用DCコード*



□ 直結配線用DCコード*



□ ACアダプター

□ サンバイザー保護シール

□ 取扱説明書(本書)

□ 保証書

□ リモコン用電池

(リモコン使用前に装着する必要があります。)

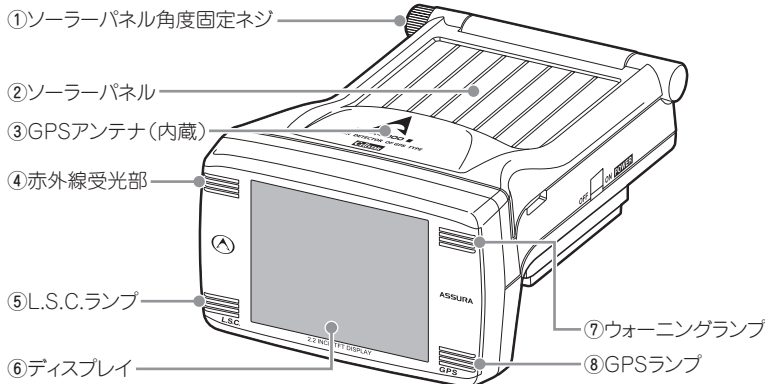
参照 ◆リモコン用電池の装着方法(▶12ページ)

※その他注意書きが同梱している場合があります。

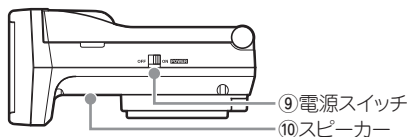
* ジェルマットは剥がしても接着跡が残りにくく、粘着力が弱くなった場合、表面の汚れを洗い流すと粘着力が復活し、再使用することができます。

傾斜している場所への取り付けなど、ジェルマット使用での取り付けが不安定になる場合には、付属の両面テープを使用して確実に取り付けてください。

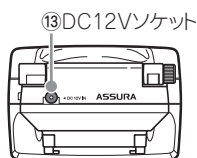
各部の名称と機能



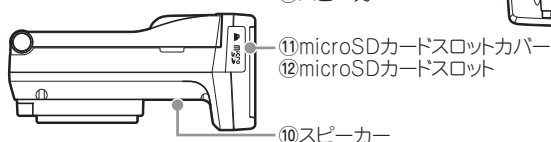
【右側面】



【背面】



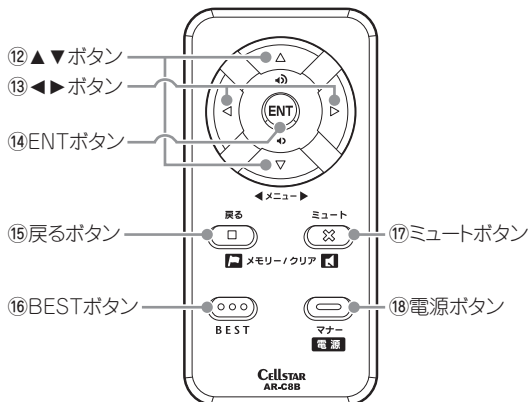
【左側面】



❖ 本体部の名称と機能

- ① **ソーラーパネル角度固定ネジ**
ソーラーパネルの開閉で使用します。
- ② **ソーラーパネル**
太陽光を受けて発電し、内蔵バッテリーに充電します。
- ③ **GPS アンテナ (内蔵)**
GPS 衛星からの信号を受信します。
- ④ **赤外線受光部**
リモコンから送信される赤外線を受光します。
- ⑤ **L.S.C. ランプ (緑・赤・橙色)**
電源の ON/OFF 状態や、ハイブリッド型 L.S.C. 機能の動作状況を表示します。
- ⑥ **ディスプレイ**
レーダー受信時、GPS 警告時、各種無線の受信時に警告画面を表示します。
また、マニュアルモードなどで各種設定内容を表示します。
- ⑦ **ウォーニングランプ (青色)**
レーダー警告の際、レーダー波の強さを点滅して表示します。
- ⑧ **GPS ランプ (赤色)**
GPS の測位状態を表示します。
- ⑨ **電源スイッチ**
電源の ON/OFF をします。
- ⑩ **スピーカー**
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。
- ⑪ **microSD カードスロットカバー**
microSD カードの挿入時／排出時に開けます。
- ⑫ **microSD カードスロット**
待ち受け画面を追加したり、本製品内蔵の画像／音声を差し替える際に使用する microSD カードを挿入します。
- ⑬ **DC12V ソケット**
DC コードまたは AC アダプターを接続し、DC12V を本製品に入力します。

各部の名称と機能 (つづき)



◆ リモコン部の名称と機能

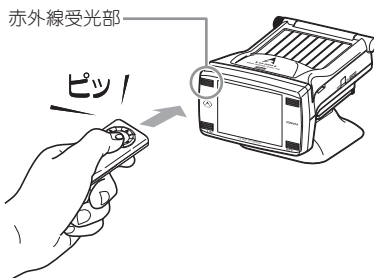
- ⑫ ▲▼ ボタン
音量を調整するときに使用します。
また、各種設定変更時の設定切り替えに使用します。
- ⑬ ◀▶ ボタン
設定メニューの選択時に使用します。
- ⑭ ENT ボタン
設定操作の決定や、通過速度の確認、1 キロ圏内サーチ機能、ワンスキップの操作をするときに使用します。
- ⑮ 戻るボタン
ユーザーメモリー機能や GPS 警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。
また、各種設定の操作などを中止するときにも使用します。
- ⑯ BEST ボタン
BEST セレクト機能の切り替えや設定チェックをするときに使用します。
- ⑰ ミュートボタン
ミュート機能、スキップメモリー、レーダーキャンセルメモリーなどの設定をするときに使用します。
- ⑱ 電源ボタン
本体の電源を ON/OFF します。
またマナーモードを切り替えるときや、反則金データベースを表示するときに使用します。

◆ リモコンの操作方法

リモコンを下図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。

⚠ 注意

- ・ リモコンを紛失いたしますと、本製品の操作をおこなうことができません。
紛失しないよう、十分ご注意ください。
- ・ 本体の赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。
これは本製品の製品不良や故障ではありません。
あらかじめご了承ください。

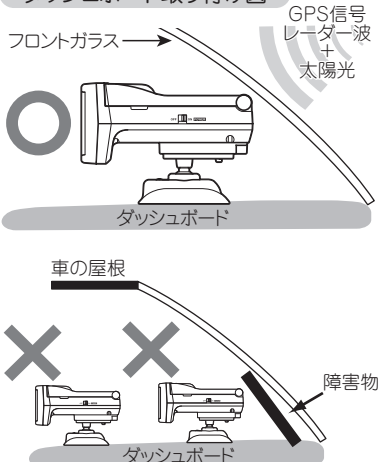


本体の取り付け方法

❖ ダッシュボード取り付け時の注意 ……

本製品は上空からの GPS 信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせします。また、ソーラーパネルによる充電機能を備えています。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに、金属などの障害となるものがないように本体をお取り付けください。

ダッシュボード取り付け図



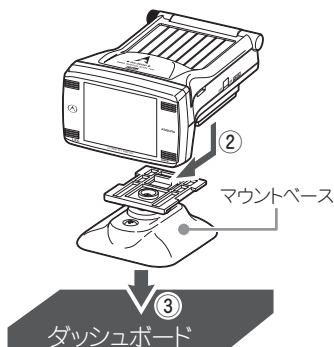
❖ ダッシュボードへの取り付け

（マウントベース使用の場合） ……

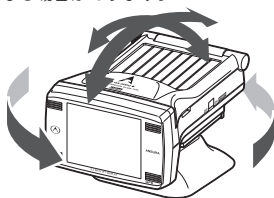
- ① マウントベースの裏面にダッシュボード取り付け用両面テープ、またはジェルマットを貼り付けます。



- ② 本体の裏面にマウントベースを装着します。
③ マウントベースをダッシュボードに貼り付けます。



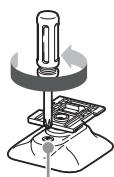
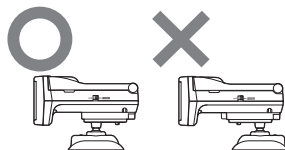
- ④ ディスプレイがよく見えるように本体の向きと傾きを調整します。
※ 太陽光の角度により、表示ランプが見えにくくなる場合があります。



ジェルマットは剥がしても接着跡が残りにくく、粘着力が弱くなった場合、表面の汚れを洗い落とすことで粘着力が復活し、再使用することができます。

傾斜している場所への取り付けなど、ジェルマット使用での取り付けが不安定になる場合は、付属の両面テープを使用して、確実に取り付けてください。

マウントベースの取り付け向きに注意してください。



調整ネジ

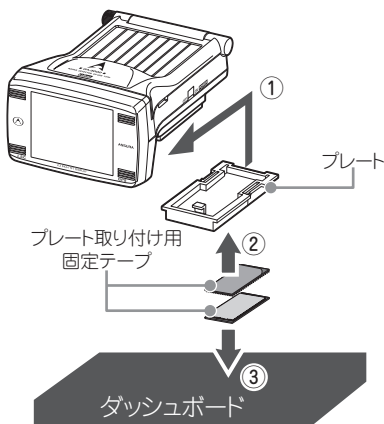
マウントベースに装着した本体の向きがぐらつく場合、マウントベースの調整ネジを締めることで、しっかりと本体を固定することができます。一度マウントベースから本体を取り外し、調整ネジをドライバーなどで締め直してください。

本体の取り付け方法（つづき）

❖ ダッシュボードへの取り付け

（直置きの場合）.....

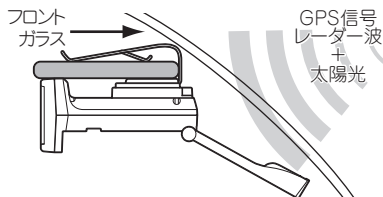
- ① 本体の背面にプレートを装着します。
- ② プレート取り付け用固定テープをプレート部に貼り付けます。
- ③ もう一方の固定テープをダッシュボードに貼り付けます。



❖ サンバイザー取り付け時の注意

サンバイザーなどに取り付ける場合には必ずソーラーパネルに直接太陽光が当たるように、また、GPSアンテナ部がGPS信号を受信できるようにソーラーパネルを開いた状態で取り付けてください。

サンバイザー取り付け図



⚠ 注意

- ・ お車によっては、本体をサンバイザーに取り付けた場合、ソーラーパネルによる充電、GPS信号の受信ができない場合があります。
- ・ 一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号やレーダー波、各種無線の受信がしにくい場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。
- ・ 運転や視界の妨げにならない場所、エアバッグの近くまたは車両の機能（ハンドル、ブレーキ）の妨げにならない場所へお取り付けください。誤った取り付けは交通事故の原因となります。

⚠ 注意

本製品は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETCなど）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合やGPSを含む各種無線が受信できなくなる場合があります。

また、本製品の設置位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。これは故障や不良ではありません。その場合には、十分間隔を取って設置してください。

サンバイザーへ取り付けした場合、ディスプレイの表示が逆になります。
画面反転機能の設定をONにして使用してください。

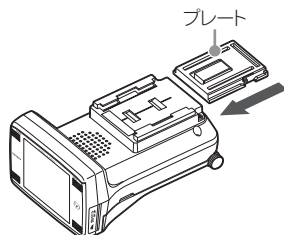
【参照】❖ 画面反転機能（➡33ページ）

【参照】❖ 各種機能の設定一覧（➡29～31ページ）

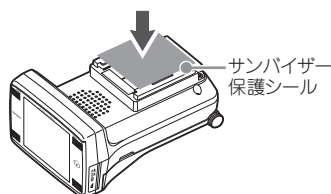
本体の取り付け方法（つづき）

❖ サンバイザーへの取り付け

- ① 本体の裏面にプレートを着着します。



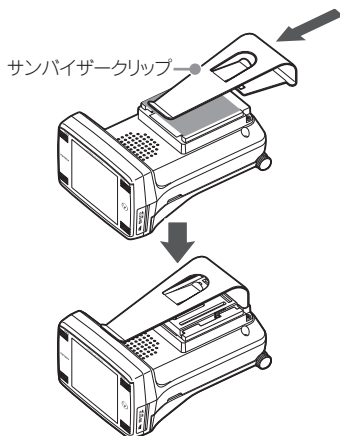
- ② サンバイザー保護シールを貼り付けます。



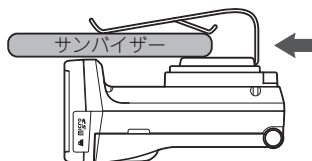
⚠ 注意

サンバイザー表面の材質によっては、サンバイザーの表面に本体の取り付け跡や色移りなどを招く場合があります。サンバイザーへ取り付けられる場合には必ずサンバイザー保護シールを使用してください。

- ③ サンバイザークリップを本体に装着したプレートに差し込みます。

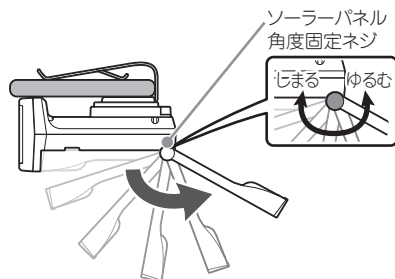


- ④ 本体をサンバイザーに挟み込んで取り付けます。



- ⑤ 「ソーラーパネル角度固定ネジ」を十分にゆるめて、ソーラーパネルを開きます。

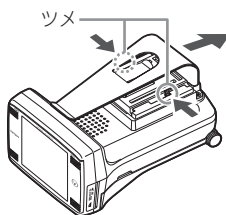
※ ネジを締めたままま開くと、本製品の破損を招きます。十分にご注意ください。



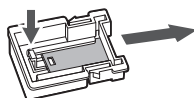
- ⑥ ソーラーパネルの角度が決まったら「ソーラーパネル角度固定ネジ」をしっかりと締めます。

❖ サンバイザークリップを取り外す場合...

- ① ツメを押し込みながら、矢印の方向に引っ張り、プレートを外します。



- ② プレートを裏返し、矢印のツメを押し込んでサンバイザークリップを取り外します。



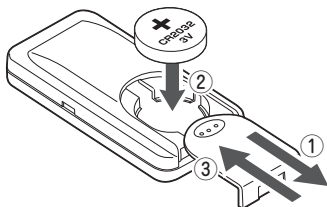
リモコンの取り付け方法

❖ リモコン用電池の装着方法

本製品ではボタン電池（CR2032）を使用します。初めて本製品をご使用になる場合は、リモコンに同梱の電池を装着してください。

また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池に交換してください。

- ① 電池カバーを後ろにずらして外します。
- ② 電池を下図のように「+」側を上にして、リモコンに納めます。
- ③ 電池カバーをはめ直します。



⚠ 警告

- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。

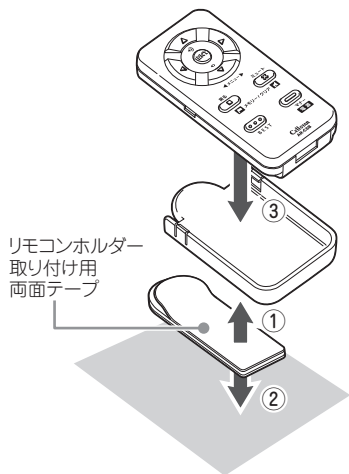
⚠ 注意

- 電池の「+」「-」を逆に入れないでください。
- 長期間、機器を使用しない場合は、機器から電池を取り出して保管してください。
- 同梱の電池は、モニター用電池です。

❖ リモコンの取り付け

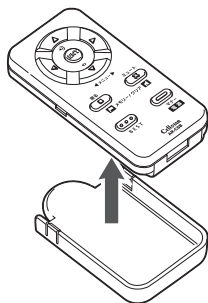
リモコンを紛失しないように、リモコンホルダーをお車に固定すると便利です。

- ① リモコンホルダーとリモコン取り付け用両面テープを貼り付けます。
- ② リモコンホルダーを取り付け箇所にはり付けます。
- ③ リモコンをリモコンホルダーに納めます。



❖ リモコンの取り外し

下図の矢印の向きにリモコンホルダーから取り外します。



microSD カードの使用方法

本製品では市販の microSD カードを使用して、本製品に内蔵している警告画面や待ち受け画面、またはスピーカーから出力される音声をお好みのものに差し替えたり、GPS データを更新することができます。

microSD カードによる待ち受け画面、警告画面や音声のカスタマイズ、および GPS データの更新について

詳しくは、以下の Web ページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

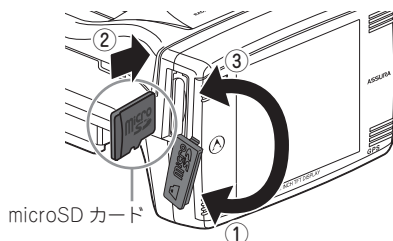
- ※ 本製品は SD 規格に準拠した FAT16 形式でフォーマットされた microSD カードが使用できます。
- ※ 本製品では、8MB ~ 1GB までの microSD カードが使用できます。
- ※ 本製品では、SDHC の microSD カードは使用できません。
- ※ microSD™ は SD アソシエーションの商標です。

microSD カードに保存したデータの取り扱いについて

- ✓ 本製品は、使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。microSD カードを使用する前にデータのバックアップを取っておくことをお勧めします。なお本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ✓ お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

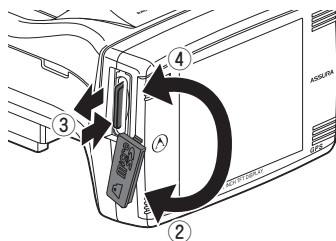
❖ microSD カードの挿入

- ① 本体左側面の microSD カードスロットカバーを開けます。
- ② microSD カードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで押し込みます。
- ③ カバーを閉じます。



❖ microSD カードの取り出し

- ① 画面に「microSD カードを抜かないで下さい」と表示されていないことを確認してください。
- ② 本体左側面の microSD カードスロットカバーを開けます。
- ③ 挿入されている microSD カードを「カチッ」と音がするまで押し込むと、microSD カードが排出されます。
- ④ microSD カードを取り出し、カバーを閉じます。



はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービスについて

内蔵バッテリーについて

本製品は、DC12V 入力または内蔵バッテリーを電源として動作いたしますが、特に内蔵バッテリー（ソーラー）での使用の際は、いくつかの注意点が 있습니다。以下の注意点をよくご理解の上、ご使用ください。

❖ 使用上の注意点



注意

無線受信の頻度、動作設定内容などによっては、内蔵バッテリーの消耗が激しくなります。これは本製品の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。



初めてお使いになる場合には、必ず AC アダプターを接続して充電を完了するか、DC コードを接続して充電をしながらご使用ください。充電時間の目安は累積で約 8 時間です。
(使用例：1 時間充電 × 8 回)



本製品は、さまざまな省電力対策を施しておりますが、GPS 測位時に多量の電気を消費します。内蔵バッテリーの電圧がある一定値以下になると、内蔵バッテリー保護のため全機能が強制的に停止しますので、ご注意ください。



ソーラーパネルでの充電は、あくまで補助的な充電です。本製品の動作頻度が高い地域または降雪地域などで、冬期にソーラーパネルでの充電ができなくなるなど、早く内蔵バッテリーが消耗する場合があります。ご注意ください。



ソーラーパネルの発電能力は、天候、取り付け場所によって大きく左右されます。夜間、雨天曇り降雪時などは、発電されませんので、DC コードを接続して使用してください。

※ 本製品を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、GPS 測位の各種データは消去され、次回の使用時、GPS 測位に時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。

※ 長期間ご使用にならない場合、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にしてください。

※ 内蔵バッテリーには寿命があります。充電が十分にできなくなってきたら新しいものと交換してください。（使用状況にもよりますが目安は約 3 年です。）また、内蔵バッテリーの交換については、お買い上げの販売店または、最寄のお客様相談窓口、カスタマーサービスにご相談ください。

※ フロントガラスに着色してある、または特殊加工してある車種の場合、ソーラー充電効率が低下して内蔵バッテリーの消耗が早くなります。

※ 内蔵バッテリーの消耗が激しいときは、DC コードでのご使用をおすすめします。

※ DC コードヒューズが切れた場合は新しいヒューズ（1A）に交換してください。

充電方法

初めてお使いになる場合や、バッテリーの充電が必要な状態になった場合は、必ず DC コードまたは AC アダプターでの充電をおこなってください。

DC コードまたは AC アダプターでの充電時間の目安は累積で約 8 時間です。

DC コードまたは AC アダプターでの充電は、「電源スイッチ」が「OFF」の場合でも充電できます。ただし DC コードを使用する場合、お車のエンジンがかかっている場合に限られます。(一部車種除く)

充電を十分にした後は、DC コードを抜いてコードレスでもご使用いただけます。

注意

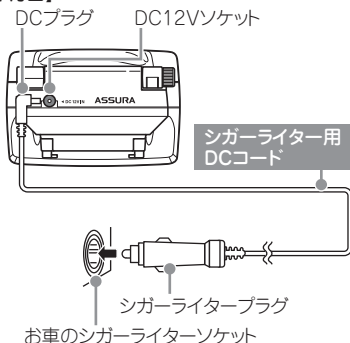
DC コードをお車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、DC コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。

十分にご注意ください。

※シガーライターから充電する場合・・・

本製品付属のシガーライター用 DC コードをご使用いただくことで、お車のシガーライターから充電することができます。

【本体背面】



注意

一部の車種において付属のシガーライター用スイッチ付き DC コードが、シガーライターソケットの形状と合わない場合があります。

※ヒューズボックスから充電する場合・・・

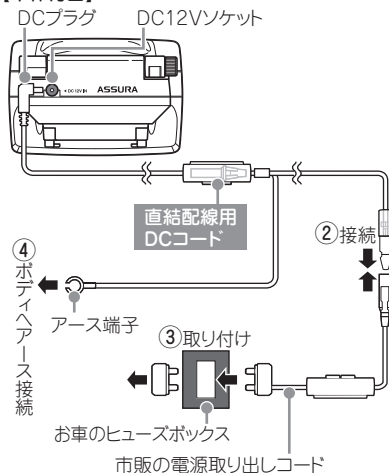
市販の電源取り出しコード（平型ヒューズタイプ）をご使用いただくことで、ヒューズボックスから充電することができます。

- ① ACC ON/OFF に連動するヒューズボックス内のヒューズ（シガーライター、ラジオなど）を探します。
- ② 直接配線用 DC コードと電源取り出しコードを接続します。
- ③ ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取り出しコードをバッテリー側に差し込みます。
- ④ 直接配線用 DC コードのアース端子をお車のボディに接続します。

注意

ヒューズボックスから電源を取る場合は、ショート事故防止のため、バッテリーのマイナス端子を外してください。

【本体背面】



注意

エンジンをかけて本製品の電源が ON にならない場合は、以下の点を点検してください。

- ・ 本体の電源スイッチ
- ・ DC コードの接続
- ・ お車、または直接配線用 DC コード内のヒューズ

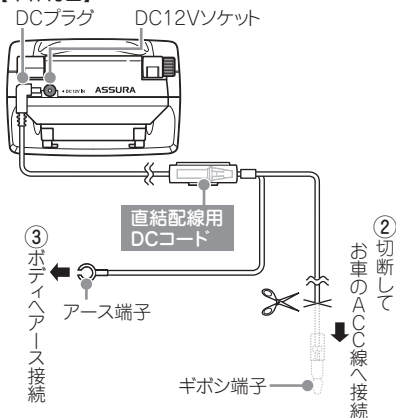
充電方法 (つづき)

❖ お車の ACC 線から直接充電する場合・・・

市販のエレクトロタップなどをご使用いただくことでお車の ACC 線から直接充電することができます。

- ① テスターなどで、お車のキーを ACC ON にしたときに 12V、OFF にしたときに 0V になる ACC 線を探します。
- ② 直結配線用 DC コードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用してお車の ACC 線へ接続します。
- ③ 直結配線用 DC コードのアース端子をお車のボディに接続します。

【本体背面】



アース端子接続の注意

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

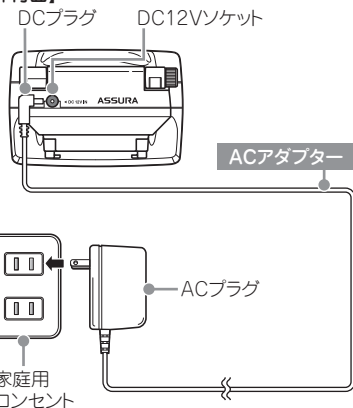
【取り付けに適さない場所】

- ・ アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ（タッピンネジなど）
- ・ チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分

❖ 家庭用コンセントから充電する場合・・・

本製品付属の AC アダプターをご使用いただくことで、家庭用コンセントから充電することができます。

【本体背面】

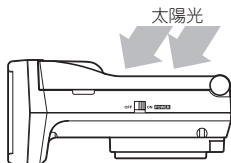


※ 充電中は本製品の電源を OFF にしてください。

充電方法（つづき）

❖ ソーラーパネルで充電する場合（補充電）・・・

ソーラーパネルに直接太陽光が当るように取り付け位置を調整してください。



※ ソーラーパネルでの充電は、「電源スイッチ」が「OFF」の場合でもおこなえます。

ソーラーパネルでの充電は、あくまでも補助的な充電です。内蔵バッテリーの充電が必要な場合には、必ず付属の DC コードまたは AC アダプターを使用して充電をおこなってください。



注意

夜間、雨天曇り降雪時などの日は太陽光が弱いため、ソーラーパネルでの充電はおこなわれません。
特に、冬季の降雪地域や悪天候が続く場合は、付属の DC コードを使用してください。

❖ 内蔵バッテリー残量警告

内蔵バッテリーの残量が少なくなると、ディスプレイに＜要充電＞画面が表示されます。



充電してください。危険です。

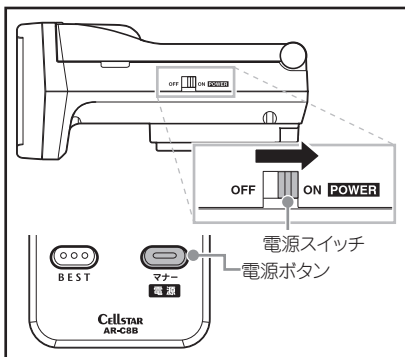
※ 上の画面が表示されてから DC12V を入力すると GPS 測位をはじめます。内蔵バッテリーの残量が低下した場合は付属の DC コードを使用し、充電しながらご使用ください。



注意

＜要充電＞画面になっても、各種設定や記録は保護されています。本製品を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、各種設定や記録は消去され、工場出荷時状態に戻る場合があります。

電源を入れる



初めてご使用になる時は、付属の AC アダプターを使用して充電を完了するか、DC コードを使用して累積で約 8 時間以上充電しながらご使用ください。

(参照 充電方法 (➡15 ~ 16 ページ))

- 1 本体の「電源スイッチ」を「ON」にします。またはリモコンの「電源ボタン」を約 3 秒間押し続けます。

電源が入るとウェルカムボイスで、シートベルトの着用または全国交通安全運動週間中の案内や飲酒運転警告をお知らせします。

※ ご購入後、はじめて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内はおこないません。シートベルトの着用案内をお知らせします。

また、はじめて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告はおこないません。

- ※ リモコンによる電源 ON 操作はリモコンにより電源 OFF した後、有効となります。(断続的に振動がない場合は、約 2 分間のみ有効です。)

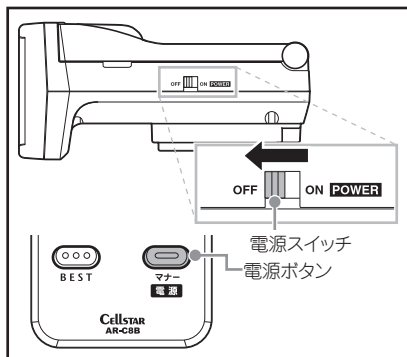
⚠ お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが(約 15 分程度)、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。

GPS 測位に 20 分以上かかる場合は電源を入れ直してください。

GPS 測位が確定すると「🔔ピンポン、GPS を測位しました。」とお知らせします。

電源を切る



- 1 本体の「電源スイッチ」を「OFF」にします。またはリモコンの「電源ボタン」を約 3 秒間押し続けます。

約 1 秒後反則金データベースが表示されますが、そのまま押し続けてください。

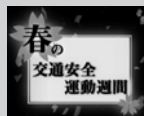
オープニング画面



通常時はシートベルト着用のお知らせをします。

飲酒運転警告機能の設定が ON の場合、夜間に本製品の電源が入ったときにお知らせします。

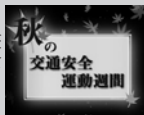
(参照 飲酒運転警告機能 (50 ページ))



4月6日～4月15日*の春の交通安全運動週間にお知らせします。

※ 4年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5月11日～5月20日に変更になります。

9月21日～9月30日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。



はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と思っ
たら？

アフターサービス
について

ディスプレイの見方

本製品が起動すると、GPS 測位の確定後、待ち受け画面^{*1}^{*2}を表示し、各種警告をおこなうたびに画面が切り替わります。

※1：待ち受け画面とエリアビューはDC12V 入力時のみ表示されます。

※2：待ち受け画面の表示については「❖ 待ち受け画面の選択」（●34 ページ）を参照してください。

待ち受け画面

時間

昼／夜表示
(夜は月齢のアイコン)
方位



表示されるデータは目安として
ご使用ください。

時刻

曜日／月日

走行速度

緯度／経度

カレンダー



月日
曜日／六曜
祝日

走行速度
時刻

デジタルメーター



走行速度
曜日／月日
時刻
緯度／経度

アナログメーター



走行速度
曜日／月日
時刻

方位



方位
緯度／経度
曜日／月日
走行速度
時刻

サテライト



測位しているGPS衛星の
位置

GPS衛星の衛星番号

エコドライブ



※これまでの走行を、
環境への影響を基
本に得点表示しま
す。環境に優しい走
行ほど得点は高く
なります。

スライドショー



※microSDカードに
保存された画像フ
ァイルが、順次ディ
スプレイに表示さ
れます。

オフ

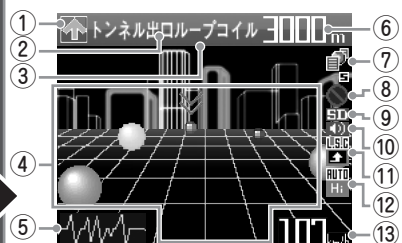


ディスプレイの見方 (つづき)

エリアビュー

(高速道/トンネル出口ループコイルが右側に設置の場合)

取締機手前 約3キロ～約2キロ

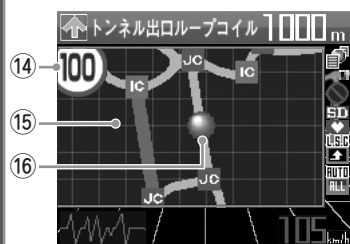


※エリアビューは、駐車禁止(重点・最重点)エリア、制限速度切り替わりポイント、県境アナウンス、凍結注意、盗難多発エリアでは表示されません。
※エリアビューの表示/非表示を設定することができます。

【参照】❖エリアビューのON/OFF設定(●32ページ)

GPS警告画面

取締機手前 約2キロ～約200m



取締機手前 約200m～約0m



- ① 取締機のある方向
- ② ④の▽で指し示されている取締機の種類
- ③ 道路種
(高速道: 緑色/一般道: 青色)
- ④ ●: 進行方向に設置された取締機などの位置
(赤色: 取締機/黄色: 取締りポイント/
青色: Nシステム/橙色: ユーザーポイント/
緑色: その他のポイント)
- ⑤ 無線またはレーダー波の受信状態
(黄色: 無線/ピンク色: レーダー波)
- ⑥ 取締機までの距離
- ⑦ 測位しているGPS衛星の数
GPSサーチ中または測位不可時はアイコンが赤色表示
- ⑧ 駐車禁止エリアのときに表示
駐車禁止エリアの表示はDC12V入力するとき、または追加表示機能がONのときにのみ表示されます。
【参照】追跡表示機能(●49ページ)
- ⑨ microSDカード挿入時に表示
- ⑩ 音声出力の状態
通常出力のときに表示
マナーモードのときに表示
ミュート(消音)時に表示
【参照】マナーモード(●36ページ)
【参照】ミュート機能(●37ページ)
- ⑪ L.S.C.の状態
L.S.C.設定速度以上の走行時に表示
L.S.C.設定速度以下の走行時に表示
OFF L.S.C.設定がOFFのときに表示
【参照】ハイブリッド型L.S.C.機能の動作(●40ページ)
- ⑫ ロード自動選択の状態
ALL オールのときに表示
Hi ハイウェイのときに表示
City シティのときに表示
【参照】ロード自動選択機能(●41ページ)
- ⑬ 走行速度
取締機手前約2キロ～約200m間で制限速度超の場合は赤色点滅
- ⑭ 制限速度
- ⑮ 取締機までの簡易マップ(速度取締機のみ)
- ⑯ 取締機の位置
- ⑰ 取締機のイラスト
イラストは取締機の種類と設置された位置(道路の左/中央/右)によって変化します。
- ⑱ 通過速度
制限速度超の場合は赤色点滅

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな?と

アフターサービスについて

GPS 警告動作例

❖速度取締機（ループコイル、新Hシステム、レーダー式オービス、LHシステム、NHシステム）

または信号無視監視機の警告動作

4ステップGPS警告（速度取締機の約2キロ手前から最大4回）でお知らせします。

首都高速、可変式、オービスの場合



ステップ1（約2キロ手前）

♪ピンポン、2キロ先 首都高速 可変式 オービスに注意してください。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別



ステップ2（約1キロ手前）

♪ピンポン、1キロ先 首都高速 可変式 オービスに注意してください。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別



制限速度、60キロ以下です。危険です。スピード落として。

オービス制限速度警告

（走行速度が制限速度を超えている場合）

ステップ3（約500m手前）

♪ピンポン、500m先 首都高速 可変式 オービスに注意してください。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別



ステップ4（約200m手前）

♪ピンポン、カメラは左側です。通過速度は60キロ以下です。

カメラ位置警告

通過速度警告



ディスプレイの警告画面は、ソーラー使用時には約10秒間、DC12V使用時または追跡表示機能がONの場合は連続で表示されます。

（参照）追跡表示機能（●49ページ）

※距離のボイスアシストは、走行状況によって2キロ先/2キロ以内、1キロ先/1キロ以内、500m先/500m以内と変化します。

※一般道は、約1キロ手前からの3ステップGPS警告になります。

⚠ 注意

- 通過速度警告は4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点に計測した速度をお知らせします。
- GPS測位による速度計測とお車のスピードメーターでは計測方法が違いため、同時点の計測であっても異なる場合があります。
- 本製品で表示する簡易マップは警告中のポイントに対するもので、実際の走行中の道路と異なる場合があります。

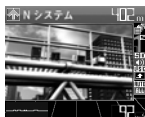
GPS 警告時のディスプレイ表示

◆ループコイル



車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

◆Nシステム



盗難車両の発見・自動車を使用した重要事件における犯人検挙のために利用する自動ナンバー読み取り装置です。

◆新Hシステム



レーダー波と異なった種類の電波を使用します。事前に「速度超過」などが速度警告板に表示され、それを無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。

◆取締りポイント



全国各地（高速道、一般道）での追尾式取締り、または移動式取締りや検問がおこなわれている目撃情報をもとに取締りがおこなわれている可能性の高いエリアを取締りポイントとして登録しています。

◆オービス



レーダー波（マイクロ波）を車両に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

取締りポイントの約1キロ手前でお知らせし、走行速度が一定の速度より速い場合には約500m手前で再度注意を促します。

※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

（参照 各種機能の設定一覧（●29～31ページ））

◆LHシステム



車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。

◆制限速度切り替わりポイント



↓DOWN
制限速度が下がるときに表示

↑UP
制限速度が上がるときに表示

◆NHシステム



通行車両をデジタルカメラで撮影し、その写真画像のブレなどから走行速度を算出することで速度違反車両を特定します。現在このNHシステムはNシステムとは異なった目的での車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的に速度取締りをおこなう可能性があります。

制限速度が切り替わる付近でお知らせします。また、制限速度よりも走行速度が速い場合は「スピードに注意してください。」とボイスアシストします。

※標準モードに設定されている場合は、制限速度が下がるポイントでのみお知らせします。

（参照 各種機能の設定一覧（●29～31ページ））

◆信号無視監視機



信号無視の取締りを自動でおこないます。



警察庁、国土交通省の統計データにもとづき、全国各地の事故発生率が高いエリアを事故多発エリアとして登録しています。

GPS 警告時のディスプレイ表示 (つづき)

◆警察署



緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署を登録しています。

※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、警察署への警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照】各種機能の設定一覧 (●29～31 ページ)

◆交通警察隊



※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、交通警察隊への警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照】各種機能の設定一覧 (●29～31 ページ)

◆交通検問所



一般道では道路脇に設置されていますが、高速道では料金所脇の高速隊詰めに併設される場合や、サービスエリアに設置されている場合もあります。道路から引き込み路があり、検問所が常設されています。取締りは常時ではありませんが速度違反や飲酒検問、過積載などの取締りをおこなっています。その他にも交通規制時にも使用されています。

※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、交通検問所への警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照】各種機能の設定一覧 (●29～31 ページ)

◆過積載監視システム



路面に設置された重量測定用の踏み板と道路上方の監視カメラによって、トレーラーなどの大型車の重量オーバーを監視します。

◆急カーブ



急カーブがある場所をお知らせします。

◆駐車禁止 (重点・最重要) エリア



本製品に登録されている駐車禁止エリアは、公表されている取締活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。しがたって、駐車禁止の標識やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所であってもお知らせしない場合があります。

なお DC12V 入力または追跡表示機能が ON のときは、駐車禁止エリア内ではディスプレイに●マークを表示します。

【参照】追跡表示機能 (●49 ページ)

※駐車禁止エリアは、一般道路に対してお知らせします。

◆道の駅



全国の一般道に併設されている道の駅を登録しています。

◆ハイウェイオアシス



全国の高速道路に併設されているハイウェイオアシスを登録しています。

◆サービスエリア



全国の高速道路に併設されているサービスエリアを登録しています。

◆パーキングエリア



全国の高速道路に併設されているパーキングエリアを登録しています。

GPS警告時のディスプレイ表示 (つづき)

❖ スマートインターチェンジ



高速道路にある、一部のサービスエリア、パーキングエリアに併設されている ETC 専用の出入口です。

❖ 県境アナウンス



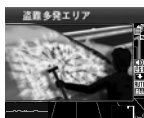
高速道路の走行時に県境をお知らせします。

❖ 凍結注意



高速道路のトンネルや橋付近の凍結の注意が必要なポイントを登録しています。
12月中旬～2月の冬季のみお知らせします。

❖ 盗難多発エリア



公表されている全国の盗難多発ポイントを登録しています。
発生の多い時間帯で低速走行時にお知らせします。

❖ トンネル出口速度取締機



トンネルの出口付近に設置されている速度取締機をトンネルの手前でお知らせします。

❖ ユーザーポイント



ユーザーメモリー機能で登録されたポイントをお知らせします。
約1キロ手前から3回警告をおこないます。

各種無線警告時のディスプレイ表示

無線受信の電波の強弱を
黄色のラインで表示します

無線なし



無線あり



注意

- ・ 警察活動無線、署活系無線、レッカー無線、消防無線、消防ヘリテレ無線、新救急無線、JH無線、警察電話、警備無線の受信には、DC12Vコードの使用が必要です。
- ・ 各種無線（350.1MHzを除く）を連続的に受信すると、自動的にディスプレイ表示のみの警告となります。

❖ 350.1MHz



速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用される無線です。
無線の会話を聞くことができます。

- ※ 350.1MHz 無線の受信は、電波の状態などによって受信状態が変わります。
- ※ 350.1MHz 無線の受信で、デジタル通信の場合は音声聞くことはできません。
- ※ 350.1MHz 無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本製品での受信は、無線が使用され電波が出ている場合に限りです。

❖ 警察デジタル無線



主に警察関係車両で本部との連絡用に使用される無線です。
※警察デジタル無線は常に使用されているわけではありません。本製品での受信は無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

各種無線警告時のディスプレイ表示（つづき）



注意

- 警察活動無線、署活系無線、レッカー無線、消防無線、消防ヘリテレ無線、新救急無線、JH無線、警察電話、警備無線の受信には、DC12Vコードの使用が必要です。
- 各種無線（350.1MHzを除く）を連続的に受信すると、自動的にディスプレイ表示のみの警告となります。

❖カーロケーター

警察関係車両などに搭載され、GPS信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。

カーロケーターを受信すると、受信電波の強弱に応じて緊迫状況かどうかを判断してお知らせします。

○1回目の受信



- ※ カーロケーターの感度が「感度Lo」に設定されている場合は、弱い電波の受信はできません。

（参照）各種機能の設定一覧（➡29～31ページ）

○ニアミスアラーム（連続受信）



連続して受信したときに、電波の強弱に応じて緊急状態であるかどうかをお知らせします。

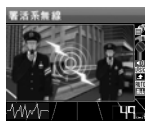
- ※ カーロケーターシステムの受信については導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。
- ※ 警察関連車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムは全ての警察関連車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。一部地域ではシステムが異なる場合もあります。このような場合には警察関連車両の接近をお知らせすることができません。
- ※ 本製品のカーロケーター受信は407.725MHzのみ対応しております。これ以外の周波数やシステムの場合、警告をおこなうことができません。

❖警察活動無線



主に機動隊で連絡用として使用される無線です。

❖署活系無線



警察署の管轄区域単位で使用する携帯無線で、警察署と警察官または警察官同士の通信手段として使用されている無線です。

❖ヘリテレ無線



事件や事故、またはヘリコプターを使った取締りなどの際に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。

- ※ 無線の会話を聞くことができません。
- ※ 一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

❖レッカー無線



駐車違反や事故処理などで主に東京都内、兵庫県内、愛知県内の一部地域でレッカー業者が使用する無線です。

- ※ レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他業種の無線も受信します。あらかじめご了承ください。
- ※ お車の走行速度が約50km/h以上の場合、レッカー無線は受信しません。

各種無線警告時のディスプレイ表示（つづき）

❖ 消防無線



各消防署と消防関係車両などの連絡に使用される無線です。

❖ 警備無線



全国の各警備会社で使用される無線です。

❖ 消防ヘリテレ無線



山林火災、水災・地震などの災害や地上からの把握が困難な高層建物火災の発生時に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。

※一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

❖ バリケードアラーム



検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合に、専用のバリケードアラームでお知らせします。

❖ 新救急無線



主に東京都内で使用される救急無線です。

❖ 取締特小無線



路上での取締り現場などで使用される無線です。

❖ JH 無線



日本道路公団（JH）のパトロール車輜と本部の間で使用される無線です。渋滞や工事・事故情報などの連絡に使用されています。無線の会話を聞くことができません。

※ デジタル通信の場合、会話を聞くことはできません。

❖ 警察電話



警察関連の自動車電話などで使用されています。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービスについて

レーダー波警告時のディスプレイ表示

レーダー波受信レベルを
ピンク色のラインで表示します

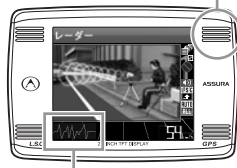
レーダー波なし



レーダー波あり



ウォーニングランプ



レーダー波を使用する速度取締機などへの接近をお知らせします。

◆レーダー警告

レーダー波を受信するとディスプレイとアラームと「ウォーニングランプ」でお知らせします。レーダー波の強さがディスプレイの上部に表示されます。

また、レーダー波の強さに応じてアラームと「ウォーニングランプ」の点滅が変化します。(自動距離測定回路内蔵)

【参照】 使用上の注意 (4～5 ページ)

レーダー波が弱い → レーダー波が強い

♪ビッ……ビッ……ビッ……ビッ……ビッ……ビッ……ビッ……ビッ……



※ レーダー警告がはじまってから約 30 秒後、警告音量が自動的に小さくなり、同時に「ウォーニングランプ」なども暗くなります。

◆ステルスアラーム

瞬時に強いレーダー波を受信すると、それをステルス波として識別し、ディスプレイとボイスアシストとアラームでお知らせします。

ステルスを受信しました。
♪ビロビロビロビロビロビロビロ…。



※ ステルスアラームがはじまってから約 10 秒後、警告音量が自動的に小さくなり、同時に「ウォーニングランプ」なども暗くなります。



ステルス波受信について

ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離の余裕をもってお知らせできません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。

◆対向車線レーダー警告オートキャンセル機能

レーダー式速度取締機が対向車線に設置されている場合、走行速度が制限速度以下のときはレーダー警告のアラームを自動的にキャンセルします。

キャンセルされたことを表示します。

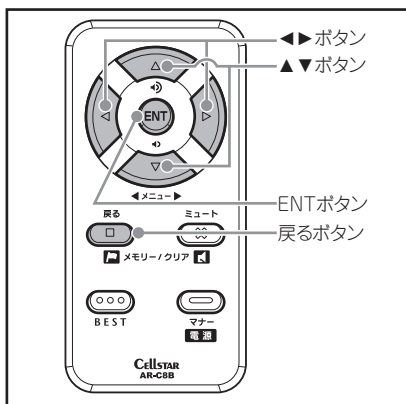


※ キャンセル中は、ウォーニングランプがグラデーション表示します。

各種機能の設定一覧

※「マニュアルモード 1/2」選択時のみ設定可能です。

マニュアルモードであらかじめ設定されている内容をお好みで変更することができます。



1 「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を押して、設定メニューから変更する機能を選びます。

※「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を長く押し続けると、選択する機能が順次切り替わります。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定内容を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して、設定を確認します。

4 引き続き他の機能の設定を変更する場合は、「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を押して、機能を選びます。

設定を終了して通常動作に戻る場合は「戻るボタン」を押します。

また何もボタンを押さなければ、約 15 秒後に自動的に通常動作に戻ります。

機 能	設定内容	説 明
取締機	オール ハイウェイ シティ	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する
N システム	オール ハイウェイ シティ	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する
取締りポイント	解除	警告を解除する
制限速度切り替り	オール 標準 解除	全てのポイントを警告する 制限速度が下がるポイントでのみ警告する 警告を解除する
オービス制限速度	設定	警告を設定する
通過速度	解除	警告を解除する
事故多発エリア		
警察署／交通警察隊	オール ハイウェイ シティ	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する
交通検問所	解除	警告を解除する
過積載取締機		
急カーブ		
駐禁エリア	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する
道の駅／ ハイウェイオアシス	オール ハイウェイ シティ 解除	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する 警告を解除する
サービスエリア／ パーキングエリア		
県境アナウンス	設定	警告を設定する
凍結注意	解除	警告を解除する
盗難多発エリア		

(ループ)

(次ページへつづく)

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

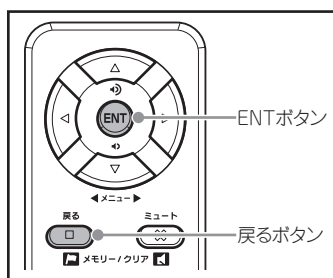
便利な機能

故障かな？と

アフターサービスについて

各種機能の設定一覧 (つづき)

機 能	設定内容	説 明
レーダー感度	オート エクストラ ウルトラ スーパ	走行速度に合わせて受信感度が自動的に変化する 受信感度を「高」に固定する 受信感度を「中」に固定する 受信感度を「低」に固定する
L.S.C.	30km/h 以下 40km/h 以下 50km/h 以下 60km/h 以下 解除	時速 30 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 40 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 50 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 60 キロ以下の走行時に警告音をミュートする L.S.C. を設定しない
カーロケ	感度 Hi 感度 Lo 解除	受信感度を 1 キロ範囲に広げる 受信感度を 500m 範囲に狭める カーロケを設定しない
350.1MHz デジタル無線 警察活動無線 署活系無線 ヘリテレ無線 レッカー無線 消防無線 消防ヘリテレ無線 救急無線 取締特小 JH 無線 警察電話 警備無線 各種設定	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する



- ※ 「各種設定」を選択して「ENT ボタン」を押すと、下の表の設定メニューに移動します。
- ※ 下の表で「戻るボタン」を押すと、上の表の設定メニューに戻ります。
- ※ [] の機能は標準モード/オールモードでも設定を変更することができます。

機 能	設定内容	説 明
ロード自動選択	オン オフ	走行している道路種 (高速道/一般道) を自動判別する 走行している道路種 (高速道/一般道) を自動判別しない
M.S.C.	感度 Hi 感度 Mid 感度 Lo	ムービングセンサーの感度を高くする (振動の少ない車用の設定) ムービングセンサーの感度を標準にする (標準の設定) ムービングセンサーの感度を低くする (振動の多い車用の設定)
明るさ・昼	1 2 3 4 5	ディスプレイの輝度を最大にする ↑ ディスプレイの輝度を標準にする ↓ ディスプレイの輝度を最小にする
明るさ・夜		
エアアビュー	オン オフ	エアアビューを表示する エアアビューを表示しない

各種機能の設定一覧 (つづき)

機 能	設定内容	説 明
警告表示	グラフィック 文字	GPS 警告をイラスト表示でおこなう GPS 警告を文字表示でおこなう
画面反転	設定 解除	画面を上下反転して表示する (通常表示)
待受画面	時間 カレンダー デジタルメーター アナログメーター 方位 サテライト エコドライブ スライドショー (SD) オフ	主に時刻を表示する待ち受け画面 主に日付を表示する待ち受け画面 主に走行速度をデジタルメーターで表示する待ち受け画面 主に走行速度をアナログメーターで表示する待ち受け画面 主に走行している方位を表示する待ち受け画面 測位している GPS 衛星の情報を表示する待ち受け画面 環境に良いとされる運転を得点化して表示する待ち受け画面 microSD カードに入れた複数の画像を順次表示する待ち受け画面 待ち受け画面を表示しない
待受背景	標準 お気に入り (SD)	本製品内蔵の画像を待ち受け画面の背景に使用する microSD カードに入れた画像を待ち受け画面の背景に使用する
スクリーン セーバー	オン オフ	スクリーンセーバーを表示する スクリーンセーバーを表示しない
追跡表示	オン オフ	追跡表示機能を設定する 追跡表示機能を解除する
飲酒運転 警告	オン オフ	オープニング画面で飲酒運転警告をする オープニング画面で飲酒運転警告をしない
日差し注意	オン オフ	朝日 / 西日の注意をアナウンスする 朝日 / 西日の注意をアナウンスしない
速度 アラーム	80km/h 90km/h 100km/h 110km/h 120km/h 130km/h 解除	時速 80 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 90 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 100 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 110 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 120 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 130 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 速度アラーム音を鳴らさない
速度 アラーム音	アラーム 1 アラーム 2 アラーム 3 ボイス	速度アラームとして「アラーム 1」を鳴らす 速度アラームとして「アラーム 2」を鳴らす 速度アラームとして「アラーム 3」を鳴らす 速度アラームとしてボイスガイドを 1 分間に 1 回おこなう
時報 アナウンス	ボイス チャイム 1 チャイム 2 オフ	毎正時に時報としてボイスガイドをおこなう 毎正時に時報として「チャイム 1」を鳴らす 毎正時に時報として「チャイム 2」を鳴らす 時報を鳴らさない
安全運転 アナウンス	オン オフ	安全運転のためのアナウンスをおこなう 安全運転のためのアナウンスをおこなわない
データ更新	更新	microSD カードによる GPS データの更新をおこなう
ディスプレイ モード	オン	製品動作のデモンストレーションをおこなう
初期化	ユーザーポイント プリセットポイント レーダーキャンセルエリア スキップメモリ オールリセット	記録したユーザーポイントを全て消去する GPS 警告ポイント消去機能で消去したポイントを全て復帰する 記録したレーダーキャンセルエリアを全て消去する 記録したスキップメモリを全て消去する 各設定や記録内容を全消去し、工場出荷時に戻す

(ループ)

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

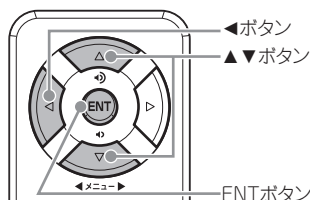
各機能の説明

便利な機能

思故障
たらな？と

アフターサービス
について

ディスプレイ表示の設定



❖ 明るさ 5 段階調節機能

ディスプレイの明るさを昼／夜それぞれ個別に、5段階に調節することができます。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「明るさ・昼」または「明るさ・夜」を選びます。

マニュアルモード 1／2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「明るさ・昼」または「明るさ・夜」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧（●29～31 ページ）

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

❖ エリアビューの ON/OFF 設定

取締機の手前約 3 キロ～約 2 キロで表示されるエリアビューの表示／非表示を設定することができます。エリアビューを非表示（OFF）にした場合は、代わりに待ち受け画面を表示します。

エリアビューは、DC12V 入力時のみ表示できます。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「エリアビュー」を選びます。

マニュアルモード 1／2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「エリアビュー」を選びます。

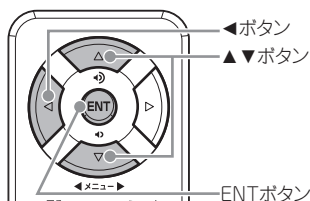


【参照】各種機能の設定一覧（●29～31 ページ）

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

ディスプレイ表示の設定 (つづき)



❖ 警告表示画面の選択

各種警告をお知らせする際、ディスプレイにはアニメーションが表示されますが、これを全て文字表示に切り替えることができます。

警告表示よりも日付や時間などの待ち受け画面を優先したいときに便利です。

グラフィック警告



この領域に警告内容がアニメーションで表示されます。

文字警告



この領域に警告内容が文字で表示されます。

※文字警告の場合、エリアビュー表示をおこないません。

❖ 画面反転機能

本製品をサンバイザーに取り付けた場合、画面表示も上下逆にする必要があります。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「画面反転」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「画面反転」を選びます。



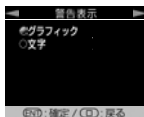
(参照 各種機能の設定一覧 (➡29～31 ページ))

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「警告表示」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「警告表示」を選びます。

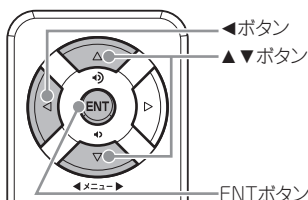


(参照 各種機能の設定一覧 (➡29～31 ページ))

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

ディスプレイ表示の設定 (つづき)



❖ 待ち受け画面の選択

待ち受け状態のときに表示される画面を選ぶことができます。

【参照】ディスプレイの見方 (➡20～21 ページ)

待ち受け画面として「スライドショー (SD)」を選んだ場合は、microSD カードに保存した画像ファイルをディスプレイに表示することができます。

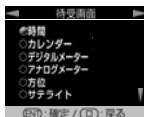
microSD カードによる待ち受け画面の設定について

詳しくは、以下の Web ページをご覧ください。
<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

- ・ 待ち受け画面は、DC12V 入力時のみ表示できます。
- ・ 待ち受け画面に表示されるデータは目安としてご使用ください。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「待受画面」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「待受画面」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧 (➡29～31 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

❖ 待ち受け画面の背景の選択

待ち受け画面の背景の画像を、microSD カードに保存したお好みの画像に変更することができます。

※ 背景を変更できる待ち受け画面は「時間」「カレンダー」「デジタルメーター」「方位」の 4 種類です。

待ち受け背景 (例)

標準



お気に入り (SD)

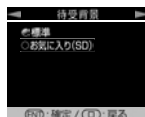


microSD カードによる待ち受け画面の背景の設定について

詳しくは、以下の Web ページをご覧ください。
<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「待受背景」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「待受背景」を選びます。

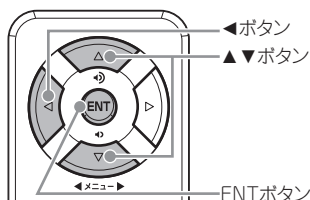


【参照】各種機能の設定一覧 (➡29～31 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

ディスプレイ表示の設定 (つづき)



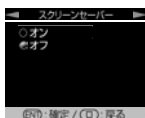
❖スクリーンセーバーの ON/OFF 設定

DC12V が入力されている状態で待ち受け時間が約 1 分間経過すると、自動的にスクリーンセーバー機能を実行します。

※ 工場出荷時は設定が OFF になっています。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「スクリーンセーバー」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「スクリーンセーバー」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧 (➡29～31 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

❖スクリーンセーバーの解除

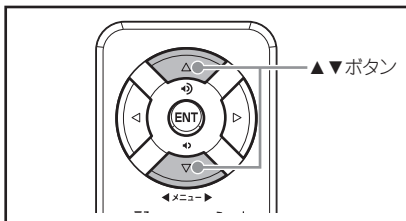
本機が警告動作をおこなったり、リモコンで音量調整などの設定操作をすると、一時的にスクリーンセーバーが解除されます。

操作例：リモコンの「BEST ボタン」を押すと、BEST セレクト機能画面が数秒間表示された後、待ち受け画面になります。

⚠ ディスプレイについて

- ✓ ディスプレイで長時間同じ映像を表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、表示跡が残る「焼き付け*」が発生する可能性があります。これらはディスプレイの特性によっておこる現象であり、不良や故障ではありません。
（※焼き付けは完全に消すことはできません）スクリーンセーバーを使用したりディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減させることができます。
本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ✓ ディスプレイの中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。
これらはディスプレイの特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。
本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ✓ ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。
お車に設置する際には、ご注意ください。

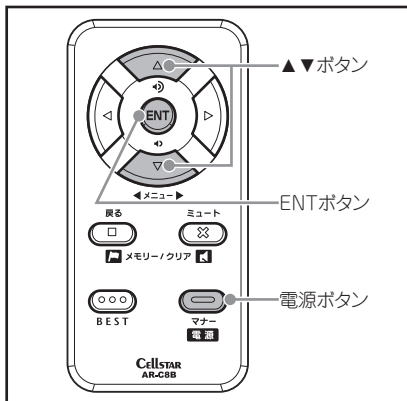
音量の調整



- 1** 「▲ボタン」または「▼ボタン」を押して音量を調整します。



マナーモード



レーダー受信時／GPS警告時／無線受信時にボイスアシスト（音声）と警告音を出力せず、メロディとディスプレイ表示だけで注意を促します。



※ マナーモード時は下記のアナウンスなどもミュート（消音）します。

- ・時報
- ・速度アラーム
- ・日差し注意
- ・安全運転アナウンス

◆マナーモードのON/OFF 設定……………

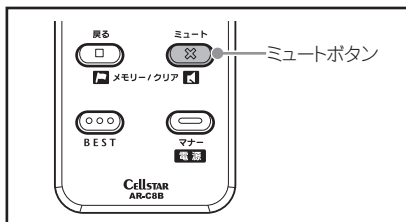
- 1** 「電源ボタン」を押します。



- 2** 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3** 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

ミュート機能



レーダー警告中や各種無線受信動作中に、警告音をミュート（消音）します。

※ ディスプレイと各ランプによる表示はおこないません。GPS 警告はミュートできません。

- 1 警告動作中に「ミュートボタン」を押します。
ミュート中はディスプレイにミュートマークが表示されます。



○ 各種無線を受信中の場合

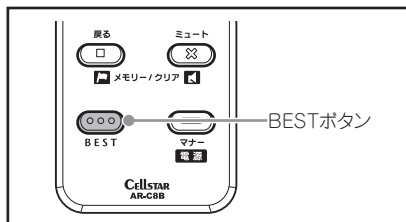
- ・ ミュート中に約 120 秒間受信がなければ、ミュート機能は自動的に解除されます。
- ・ ミュート中に再度受信した場合、約 120 秒間ミュート機能が延長されます。

○ レーダー警告中の場合

- ・ ミュート中、レーダーの受信が無くなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

※ ミュートの動作中に「ミュートボタン」を再度押すと、ミュートが解除されます。

BEST セレクト機能

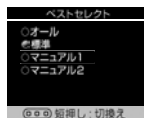


簡単なワンタッチ操作だけで、各機能の設定を個々におこなう必要がない「オールモード」「標準モード」と、自由に設定変更ができる「マニュアルモード 1」「マニュアルモード 2」の 4 つを切り替えることができます。

オールモード	標準モード (工場出荷時)
全ての警告が ON になっています。	ベストセレクトされた機能が ON になっています。
マニュアルモード 1	マニュアルモード 2
初期設定が高速道向けに設定されています。	初期設定が一般道向けに設定されています。
お好みに合わせて各種機能の設定を自由に変更することができます。	

❖ BEST セレクト機能の切り替え

- 1 「BEST ボタン」を押します。
現在の設定モードをお知らせします。



- 2 再度「BEST ボタン」を押すと設定モードが切り替わります。

押すたびに設定モードが切り替わります。

※ 「マニュアルモード 1/2」から「標準モード」「オールモード」に切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。

❖ 設定チェック機能

- 1 「BEST ボタン」を約 1 秒間押し続けます。
「ベストセレクト○○」の後に、各機能の設定内容をボイスガイドとディスプレイでお知らせします。
※ お知らせ中に、「BEST ボタン」を押すと終了します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービス

BEST セレクト機能 (つづき)

○各モードの設定内容 (マニュアルモードは初期設定の内容)

参照 各種機能の設定一覧 (29 ~ 31 ページ)

	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2
取締機	オール	オール	ハイウェイ	シティ
N システム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
取締りポイント	オール	オール	ハイウェイ	シティ
制限速度切り替わりポイント	オール	標準	標準	標準
オービス制限速度警告	設定	設定	設定	設定
通過速度警告	設定	設定	設定	設定
事故多発エリア	オール	解除	解除	解除
警察署/交通警察隊	オール	解除	解除	解除
交通検問所	オール	オール	ハイウェイ	シティ
過積載監視システム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
急カーブ	オール	解除	解除	解除
駐車禁止エリア	設定	解除	解除	解除
道の駅/ハイウェイオアシス	オール	解除	解除	解除
サービスエリア/パーキングエリア	設定	解除	解除	解除
県境アナウンス	設定	解除	解除	解除
凍結注意	設定	解除	解除	解除
盗難多発エリア	設定	解除	解除	解除
レーダー感度	オート	オート	オート	オート
L.S.C.	30km/h 以下	30km/h 以下	50km/h 以下	30km/h 以下
カーロケター	感度 Hi	感度 Hi	感度 Hi	感度 Hi
350.1MHz	設定	設定	設定	設定
警察デジタル無線	設定	設定	設定	設定
警察活動無線	設定	解除	解除	解除
署活系無線	設定	解除	解除	解除
ヘリテレ無線	設定	解除	解除	解除
レッカー無線	設定	解除	解除	解除
消防無線	設定	解除	解除	解除
消防ヘリテレ無線	設定	解除	解除	解除
新救急無線	設定	解除	解除	解除
取締特小無線	設定	解除	解除	解除
JH 無線	設定	解除	解除	解除
警察電話	設定	解除	解除	解除
警備無線	設定	解除	解除	解除

(次ページにつづく)

※ [] の項目は変更できません。

※ 本製品の電源が OFF になっても、各種設定は保存されています。また、マニュアルモードの設定内容も記憶されています。

※ 警察活動無線、署活系無線、警察電話、警備無線、消防無線、消防ヘリテレ無線、新救急無線、レッカー無線、JH 無線を受信するには、DC コードから DC12V 入力する必要があります。

BEST セレクト機能 (つづき)



	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2
ロード自動選択	オフ	オフ	オフ	オフ
M.S.C.	感度 Mid	感度 Mid	感度 Mid	感度 Mid
明るさ・昼	3	3	3	3
明るさ・夜	4	4	4	4
エリアビュー	オン	オン	オン	オン
警告表示	グラフィック	グラフィック	グラフィック	グラフィック
画面反転	解除	解除	解除	解除
待受画面	時間	時間	時間	時間
待受背景	標準	標準	標準	標準
スクリーンセーバー	オフ	オフ	オフ	オフ
追跡表示	オフ	オフ	オフ	オフ
飲酒運転警告	オン	オン	オン	オン
日差し注意	オフ	オフ	オフ	オフ
速度アラーム	解除	解除	解除	解除
速度アラーム音	アラーム 1	アラーム 1	アラーム 1	アラーム 1
時報アナウンス	ボイス	ボイス	ボイス	ボイス
安全運転アナウンス	オン	オン	オン	オン

⚠ 注意

- 設定が「標準モード」「オールモード」の場合、設定は固定されています。各機能の設定を個別に変更することはできません。お好みの設定に変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード1」または「マニュアルモード2」に切り替えてください。
- オールモードやマニュアルモードの設定内容によっては、内蔵バッテリーの消耗が激しくなる場合があります。これは本製品の製品不良や故障ではありません。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービスについて

ハイブリッド型 L.S.C. 機能の動作



L.S.C. ランプ

L.S.C. の動作



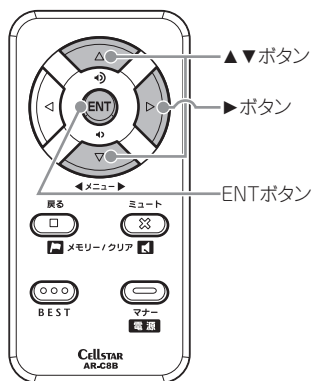
L.S.C. 設定速度
以上の走行時
または 高振動時



L.S.C. 設定速度
以下の走行時
または 低振動時



L.S.C. が OFF



GPS 測位中、お車の低速走行や停止時にレーダー警告音を自動的にミュート（消音）し、GPS 測位していない場合は、お車の振動が少ない状態のときに警告音をミュートします。

L.S.C.	お車の走行状態	警告音	「L.S.C. ランプ」	ディスプレイ
ON	L.S.C. 設定速度以上の走行時 または 高振動時	あり	緑色*	
	L.S.C. 設定速度以下の走行時 または 低振動時	なし（ミュート）	赤色*	
OFF	高振動時	あり	緑色*	
	低振動時	あり	橙色*	

※ 内蔵バッテリーでの動作時は点滅表示、DC12V での動作時は点灯表示となります。

❖ L.S.C. 機能の切り替え

（L.S.C. 機能の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード 1/2 に変更する必要があります。）

1 「▶ ボタン」を押して設定メニューから「L.S.C.」を選びます。



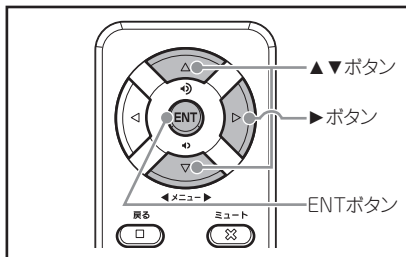
（参照 各種機能の設定一覧（➡29～31 ページ））

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

30km/h 以下	時速 30 キロ以下のときに警告をミュート
40km/h 以下	時速 40 キロ以下のときに警告をミュート
50km/h 以下	時速 50 キロ以下のときに警告をミュート
60km/h 以下	時速 60 キロ以下のときに警告をミュート
解除	L.S.C. を設定しない

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

レーダー波受信感度オートの動作



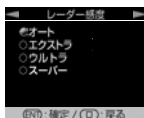
レーダー波の受信感度を、お車の走行速度に合わせで自動で切り替えます。

お車の走行状態	受信感度
時速 約 50 キロ以上	エクストラ (高感度)
時速 約 50 ～ 30 キロ	ウルトラ (中感度)
時速 約 30 キロ未満	スーパー (低感度)
GPS 未測位	エクストラ 固定

❖ レーダー感度の切り替え

(レーダー波受信感度の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード 1/2 に変更する必要があります。)

1 「▶ ボタン」を押して設定メニューから「レーダー感度」を選びます。



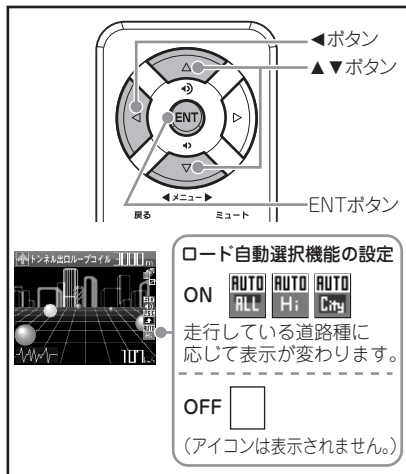
(参照 各種機能の設定一覧 (➡29 ～ 31 ページ))

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

オート	走行速度に合わせて受信感度が自動的に変化する
エクストラ	受信感度を「高」に固定する
ウルトラ	受信感度を「中」に固定する
スーパー	受信感度を「低」に固定する

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

ロード自動選択機能



GPS を用いて現在走行している道路の種類(高速道／一般道)を自動で判別し、その道路に適した GPS 警告をお知らせします。

※ 現在の走行状態が一般道が高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際の状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「ロード自動選択」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」。「▶ ボタン」を続けて押して「ロード自動選択」を選びます。



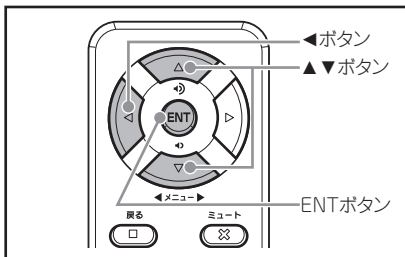
(参照 各種機能の設定一覧 (➡29 ～ 31 ページ))

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

※ マナーモード中は、メロディでお知らせします。

パワーオート切り替え機能



DC12V が入力されている場合は、本製品はお車のキー操作に連動して電源の「ON/OFF」をおこないます。

またソーラーで使用している場合は、内蔵のムービングセンサーを利用して、お車が駐車中などの振動の少ない状態が約 2 分以上続いたときに自動的に電源を切ります。エンジン始動や発進などで再度連続的な振動を検知すると、自動的に電源が入ります。

❖ ムービングセンサーの感度設定

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「M.S.C」を選びます。

マニュアルモード 1／2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「M.S.C」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧（➡29～31 ページ）

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

「M.S.C」の設定の目安

感度 Hi：振動の少ない車……………（高感度）

感度 Mid：標準設定

感度 Lo：振動の多い車……………（低感度）

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

オートトーンダウン／オートディマー機能

レーダー警告が始まってから約 30 秒後、またはステルスアラームが始まってから約 10 秒後に、警告音量が自動的に小さくなり、各ランプが暗くなります。

※ 設定は不要です。

エリアタイムディマー機能

GPS の時刻情報を利用し、各地域での昼／夜／薄明時（朝または夕方）の時刻に応じてディスプレイと LED の明るさを自動的に調整します。

レシーバーオートミュート機能

同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート（消音）します。

※ 350.1MHz はミュートされません。

※ ディスプレイによる表示はおこないません。

※ 設定は不要です。



注意

・ DC コードを抜いた場合など DC12V が切れると、約 15 秒間電源は「OFF」となります。

・ ソーラーで使用の場合、振動で電源が入らない場合や電源が切れない場合には、ムービングセンサーの感度をお車に合わせて調整してください。

・ お車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、電源が切れない場合があります。その場合には本体の「電源スイッチ」で電源を切ってください。

GPS測位について



GPS ランプ

GPS 未測位時は
赤色表示

測位している
GPS 衛星の数

GPS を利用した機能を使用するために、GPS の測位確定が必要となります。

本製品の電源が入ると、自動的に GPS 測位が始まり、GPS 測位が確定するまで「GPS ランプ」が点滅します。
GPS 測位が確定すると「トピンポン、GPS を測位しました。」とお知らせします。

❖GPS 測位状態の確認

ディスプレイと「GPS ランプ」で測位状態が確認できます。

測位状態	ディスプレイ	「GPS ランプ」
GPS 未測位	 (アイコンが赤色表示)	点滅
測位中		消灯

※ ディスプレイの表示はDC12V が入力されている場合に限りです。



お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

- GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが(約 15 分程度)これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどでは GPS 測位しにくくなりますので、ご注意ください。
- GPS 機能を使用するには、GPS 測位中に限られます。
- 車内で TV の 56ch にチャンネルを設定していると、本製品の GPS 測位ができなくなる場合があります。これは製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

❖GPS を利用した主な機能

- GPS 警告
 - 速度取締機 (4 ステップ GPS 警告)
 - N システム
 - 取締りポイント
 - 制限速度切り替わりポイント
 - オービス制限速度警告
 - 通過速度警告
 - カメラ位置警告
 - 事故多発エリア
 - 警察署/交通警察隊
 - 交通検問所
 - 過積載監視システム
 - 急カーブ
 - 駐車禁止エリア
 - 盗難多発エリア
 - 道の駅/ハイウェイオアシス
- 対向車線レーダー警告オートキャンセル機能
- ハイブリッド型 L.S.C. 機能
- レーダー波受信感度オート切り替え機能
- ユーザーメモリー機能
- レーダーキャンセルメモリー機能
- GPS 警告ポイント消去
- エリアタイムディマ機能
- 1 キロ圏内サーチ機能
- 通過速度履歴確認機能
- 全国交通安全運動週間の案内
- 飲酒運転警告機能
- ロード自動選択機能
- 速度アラーム機能
- 日差し注意機能
- 安全運転アナウンス機能
- 時報アナウンス機能

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

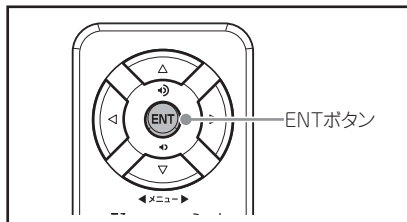
便利な機能

思っ故障たらな？と

アフターサービスについて

スキップ機能

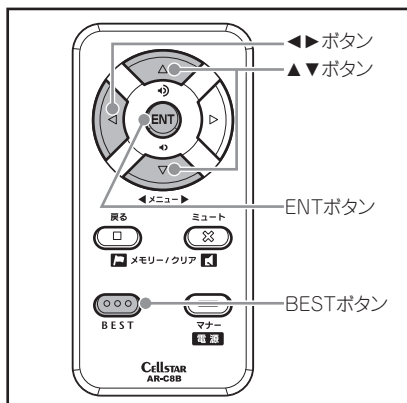
ワンスキップ



受信中の無線を一回だけスキップ（強制終了）することができます。

- 1 受信中に「ENT ボタン」を押します。
「トビッ」と鳴り、警告表示や受信音を強制終了します。

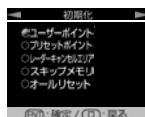
スキップメモリー



○スキップメモリーの全消去

※ 個別での消去はできません。一括での消去となります。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。
マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「▼ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (→29 ~ 31 ページ)

各種無線のうち、特定のチャンネルを最大 253 チャンネル記録し、スキップ（受信拒否）し続けることができます。

※ カーロケと 350.1MHz はスキップできません。

- 1 スキップしたい無線の受信警告動作中に「BEST ボタン」を約 1 秒間押し続けます。
操作結果をボイスガイドでお知らせします。

※ 電源を OFF にしても、記録されたスキップメモリーは保持されます。

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「スキップメモリー」を選びます。
「スキップメモリー、スキップメモリー…」と繰り返しアナウンスされます。

- 3 「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。
これでスキップメモリーが全て消去されました。

ユーザーメモリー機能



新規にお知らせしたいポイントを最大 100 箇所記録して、約 1 キロ手前から 3 回警告をおこなうことができます。

この機能を使用することで、新設された取締機の位置の記録や注意したい地点の記録をおこない、方向識別をして GPS 警告を出すことができます。

※ 記録するには約 1 キロ以上走行している必要があります。

※ 100 箇所を越えると、100 箇所目のポイントに上書きします。

❖ユーザーポイントの記録

1 記録したいポイントの場所で「戻るボタン」を約 1 秒間押し続けます。

「♪ピンポン」と鳴り、記録を始めます。

※ GPS 測位の状態によっては、結果が出るまで最大約 20 秒かかります。

結果	ボイスガイド
ポイント記録成功	♪ピンポン、ユーザーポイント記録しました。
ポイント記録失敗 (GPS が測位できない)	♪ピンポン、GPS を測位できません。
ポイント記録失敗 (走行データなし)	♪ピンポン、ユーザーポイント記録できません。

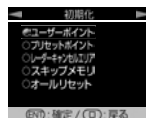
❖ユーザーポイントの個別消去

1 設定したユーザーポイントの GPS 警告動作中に「戻るボタン」を約 1 秒間押し続けます。操作結果をボイスガイドでお知らせします。

❖ユーザーポイントの全消去

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード 1／2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧 (➡29～31 ページ)

2 「ユーザーポイント」が選択されていることを確認します。

「ユーザーポイント、ユーザーポイント…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。これでユーザーポイントが全て消去されました。



注意

ユーザーメモリーは一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は十分に注意しておこなってください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービス

GPS 警告ポイント消去機能



本製品に登録されている、速度取締機／Nシステム／取締りポイント／制限速度切り替わりポイント／事故多発エリア／警察署／交通検問所／過積載監視システム／急カーブ／駐車禁止エリア／道の駅などのGPS警告を消去することができます。この機能を使用することで、取締機の撤去などに対応することができます。

❖GPS 警告ポイントの消去……………

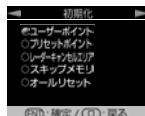
- 1 消去したいポイントのGPS警告動作中に「戻るボタン」を約1秒間押し続けます。「♪ピンポン」と鳴り、消去を始めます。その後、操作結果をボイスガイドでお知らせします。

❖GPS 警告消去ポイントの全復帰……………

GPS警告ポイント消去機能で消去したポイントを全て復帰します。
※ 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



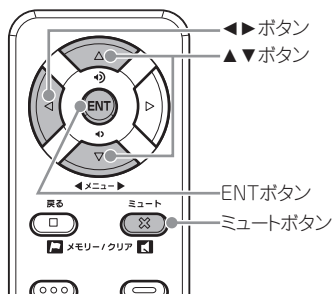
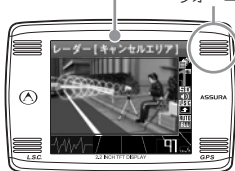
【参照】各種機能の設定一覧 (➡29～31 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「プリセットポイント」を選びます。「プリセットポイント、プリセットポイント…」と繰り返しアナウンスされます。
- 3 「ENT ボタン」を約1秒間押し続けます。これでGPS警告ポイントが全て復帰しました。

レーダーキャンセルメモリー機能

レーダーキャンセルエリア内で表示します。

ウォーニングランプ



レーダー警告音が必要ないと思われるエリアの半径約 200m 圏内で、レーダー警告音をキャンセル（消去）することができます。

※ 最大で 100 箇所のポイントをキャンセルできます。

◆レーダーキャンセルエリアの記録・・・

1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「ミュートボタン」を約 1 秒間押し続けます。「トピンボン」と鳴り、記録を始めます。

※ GPS 測位の状態によっては、結果が出るまで最大約 20 秒がかかります。

結 果	ボイスガイド
エリア記録成功	トピンボン、レーダーキャンセルエリア記録しました。
エリア記録失敗 (GPS が測位できない)	トピンボン、GPS を測位できません。
エリア記録失敗 (その他の理由)	トピンボン、レーダーキャンセルエリア記録できません。

◆レーダーキャンセルエリアの確認・・・

ディスプレイと「ウォーニングランプ」でエリア内であるかどうかを確認できます。

レーダー波 受信	ディスプレイ	「ウォーニング ランプ」
あり		3 回点滅
なし		2 回点滅

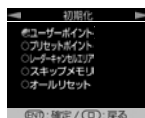
◆レーダーキャンセルエリアの個別消去・・・

1 消去したいレーダーキャンセルエリア内で「ミュートボタン」を約 1 秒間押し続けます。「トピンボン」と鳴り、消去を始めます。その後、操作結果をボイスガイドでお知らせします。

◆レーダーキャンセルエリアの全消去・・・

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



(参照 各種機能の設定一覧 (●29～31 ページ))

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「レーダーキャンセルエリア」を選びます。「レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア…」と繰り返してアナウンスされます。

3 「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。これでレーダーキャンセルエリアが全て消去されました。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

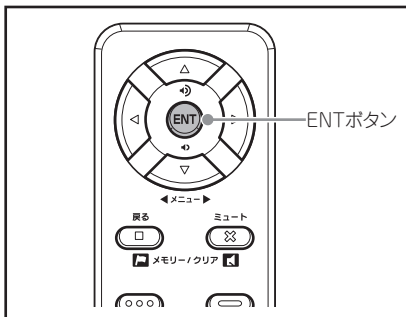
各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービスについて

通過速度履歴確認機能



速度取締機を通過したときの通過速度をボイスガイドとディスプレイで確認することができます。

※ 確認できる通過速度は、最後に計測した通過速度 1 件のみとなります。

1 「ENT ボタン」を押します。

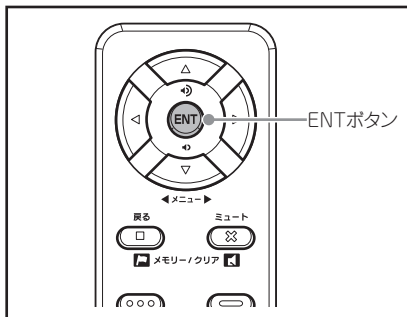
ボイスガイドとディスプレイで前回の通過速度をお知らせします。

※ 通過速度警告が OFF の場合でも、通過速度のデータは保存されているので確認することができます。

(参照 各種機能の設定一覧 (●29 ~ 31 ページ))

※ 本製品の電源が切れると通過速度履歴データは消去されます。

1 キロ圏内サーチ機能



現在地から半径約 1 キロ圏内に速度取締機またはユーザーポイントがあるかどうかを検索することができます。

1 「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。
「♪ビップ、サーチします。」と鳴り、サーチがはじまります。

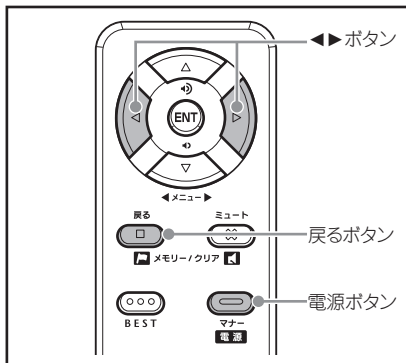
2 ディスプレイとボイスガイドで結果をお知らせします。

結 果	ボイスガイド
設置あり	♪ピンポン、1 キロ以内 東名高速可変式 ループコイルに注意 してください。
設置なし	♪ピンポン、ポイント ありません。
GPS が測位 できない	♪ピンポン、GPS を測位できません。

※ GPS 測位の状態によっては、結果が出るまで
最大約 20 秒かかります。

※ 半径約 1 キロ圏内に複数ポイントがある場合は、
最も近いポイント 1 箇所についてお知らせします。

反則金データベース表示機能



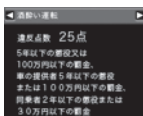
交通違反の際に課せられる反則金や反則点数をディスプレイに表示します。

違反内容によっていくら反則金が課せられるか、または何点反則点数が加算されるかを調べるのに便利です。

※ 表示内容は 2008 年 1 月現在のものです。

※ 全ての交通違反は登録されていません。

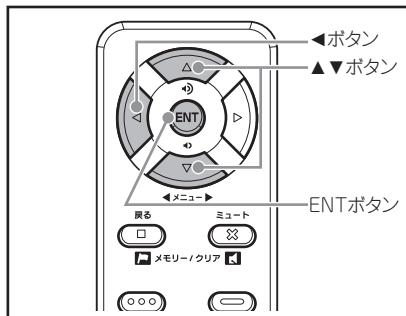
- 1 「電源ボタン」を約 1 秒間押し続けます。
ディスプレイに反則金データベースが表示されます。



- 2 「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を押して、表示内容を切り替えます。
違反点数の大きい順に画面が切り替わります。

- 3 通常の画面に戻る場合は「戻るボタン」を押します。

追跡表示機能



DC12V 入力のない状態ではディスプレイの GPS 警告表示は警告開始から約 10 秒で終了します。追跡表示機能を ON にすることで、DC12V 入力時と同じように速度取締機や信号無視監視機を通過するまで警告画面を表示し続けることができます。

※ 以下のポイントは追跡表示されません。

- ・急カーブ
- ・制限速度切り替わりポイント
- ・県境アナウンス
- ・凍結注意
- ・盗難多発エリア

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「追跡表示」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「追跡表示」を選びます。

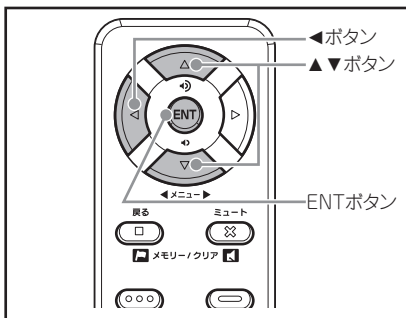


(参照 各種機能の設定一覧 (29 ~ 31 ページ))

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

飲酒運転警告機能

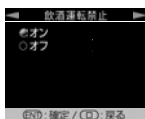


本製品の電源を入れたときに表示されるオープニング画面で、飲酒運転を警告します。(夜間に限ります。)

【参照】電源を入れる (●18 ページ)

- 1** オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「飲酒運転禁止」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「飲酒運転禁止」を選びます。

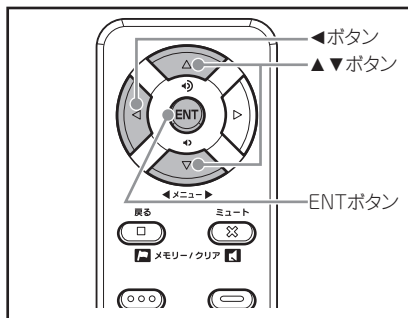


【参照】各種機能の設定一覧 (●29～31 ページ)

- 2** 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3** 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

目差し注意機能



太陽の位置が低いため運転時に日光がまぶしく感じる朝と夕方に、ボイスガイドで注意を促します。

- 1** オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「目差し注意」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「目差し注意」を選びます。



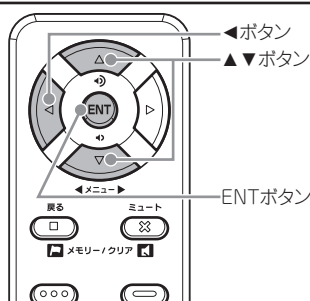
【参照】各種機能の設定一覧 (●29～31 ページ)

- 2** 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3** 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

※ マナーモード中はお知らせしません。
※ 目差し注意機能は実際の天候にかかわらずお知らせします。

速度アラーム機能



走行速度があらかじめ設定しておいた上限速度を超えたときにボイスまたはアラームで警告します。

❖ 上限速度の設定

上限速度として 80km/h、90km/h、100km/h、110km/h、120km/h、130km/h のいずれかを選択できます。

速度アラーム機能を OFF にするには「解除」を選択します。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「速度アラーム」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「速度アラーム」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧 (➡29～31 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

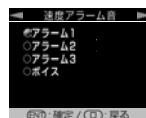
※ マナーモード中はお知らせしません。

❖ 速度アラーム音の設定

警告時に流れる音声はボイスガイドと 3 種類のアラーム音から選ぶことができます。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「速度アラーム音」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「速度アラーム音」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧 (➡29～31 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

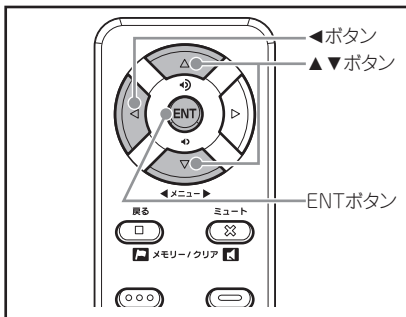
各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービスについて

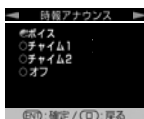
時報アナウンス機能



毎正時に時刻をボイスガイドまたはチャイム音でお知らせします。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「時報アナウンス」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「▶ ボタン」を続けて押して「時報アナウンス」を選びます。



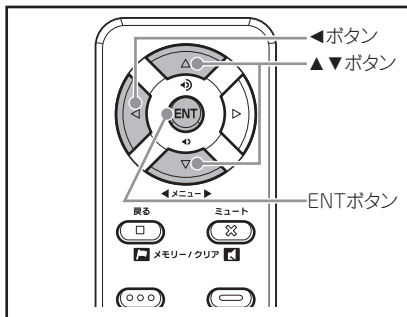
【参照】各種機能の設定一覧 (●29～31 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

※ マナーモード中はお知らせしません。

安全運転アナウンス機能

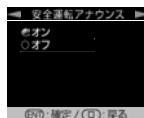


ボイスガイドで安全運転に向けたアドバイスをお知らせします。

お知らせ時	ボイスガイド
本機の電源が入ってから2時間経過	♪、2時間が経過しました。 休憩しましょう。 ※以降、2時間ごとにアナウンスします。
日没時刻	♪、ヘッドライトの点灯を確認してください。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「安全運転アナウンス」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「▶ ボタン」を続けて押して「安全運転アナウンス」を選びます。



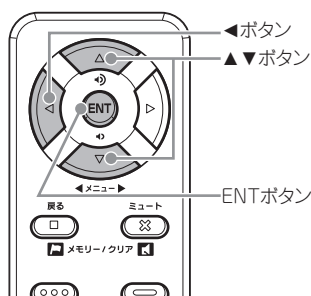
【参照】各種機能の設定一覧 (●29～31 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

※ マナーモード中はお知らせしません。

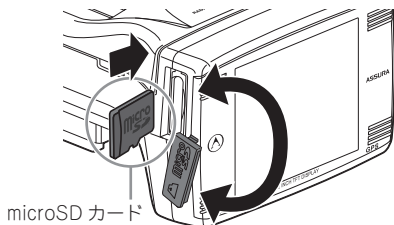
GPS データ更新機能



microSD カードを使用して GPS データの更新をおこないます。

詳しくは専用サイト (<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>) を参照してください。

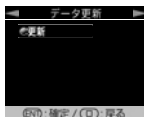
- 1 GPS 更新データを入れた microSD カードを microSD スロットに挿入します。



【参照】 microSD カードの挿入 (●13 ページ)

- 2 オールモード／標準モードの場合「◀ ボタン」を押して「データ更新」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「データ更新」を選びます。



【参照】 各種機能の設定一覧 (●29 ~ 31 ページ)

- 3 「ENT ボタン」を押して GPS データを更新します。

GPS データの更新に成功すると以下の画面が表示されます。



GPS データの更新に失敗した場合、左の画面が表示されます。
専用サイト内の説明をよく読み再度、データ更新をおこなってください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

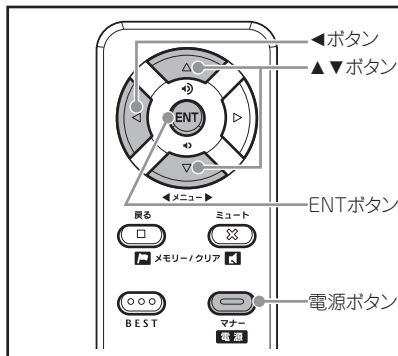
各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービスについて

ディスプレイモード

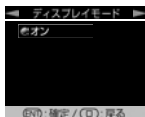


本製品のデモを表示するディスプレイモードになります。ディスプレイモード中は、本製品の機能が全て無効になりますのでご注意ください。

- ※ DC12V が入力されていないと動作しません。
- ※ DC12V が入力されていないと解除することができません。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「ディスプレイモード」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「ディスプレイモード」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (☞29～31 ページ)

- 2 「ENT ボタン」を押すとディスプレイモードになります。

画面と音声によるデモをおこないます。



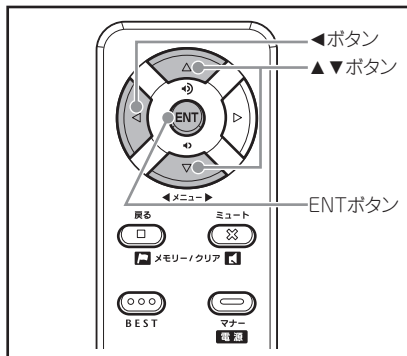
※画面は例です。

❖ディスプレイモードの解除方法

- 1 ディスプレイモード中に、「電源ボタン」を3秒以上押し続けます。

これでディスプレイモードが解除されました。

本製品の全リセット

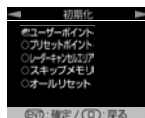


この操作をおこなうと、各設定や記録内容は全て消去され、工場出荷時状態に戻ります。

参照 BEST セレクト機能 (☞38～39 ページ)

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (☞29～31 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「オールリセット」を選びます。

「オールリセット、オールリセット…」と繰り返しアナウンスされます。

- 3 「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。これで全リセットが完了しました。



注意

全リセットをおこなうと、各設定や記録内容を復帰させることはできません。リセット操作は十分に注意しておこなってください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と思っ
たら？

アフターサービス
について

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症 状	チェック内容	参照ページ
電源が入らない		
コードレスで使っている	内蔵バッテリーの残量はありますか。	17
	ムービングセンサーの感度は正しく設定されていますか。	42
DC コードを使っている	DC12V は入力されていますか。	15～16
電源が切れない	DC12V が入力されていませんか？	42
	ムービングセンサーの感度は正しく設定されていますか。	42
充電されない		
コードレスで使っている	ソーラーパネルに太陽光が適切に当たっていますか。	17
DC コードを使っている	DC12V は入力されていますか。	15～16
機能の設定ができない	「マニュアルモード」に設定されていますか。	37～39
	GPS 信号は受信可能ですか。	9～11、40
GPS 信号を受信しない	DC コードを使用して、充電しながら GPS 測位してください。	15～16
コードレスで使っている	内蔵バッテリーの残量はありますか。	17
	GPS 信号は受信可能ですか。	9～11、40
	登録されていない速度取締機の可能性があります。	4～5、45、58
速度取締機の警告をしない	取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。	29～31
	GPS 警告ポイント消去機能が設定されていませんか。	46
	設定が「解除」になっていませんか。	29～31
GPS 警告をしない	登録されていないポイント（エリア）の可能性があります。	4～5、45、58
	ロード自動選択機能が ON になっていませんか。	29～31、41
制限速度切り替わりポイントの GPS 警告をしない	制限速度切り替わりポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。	29～31
何も無いのにレーダー警告音が鳴る	速度取締機と同じ電波を他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。 －同じ電波を使用している機器例－ ・自動ドアの一部 ・車両通過計測器 ・NTT の通信回線の一部 ・気象用、航空機用などのレーダーの一部 －対処療法－ レーダーキャンセルメモリー機能	47

故障かな？と思ったら（つづき）

症 状	チェック内容	参照ページ
ユーザーメモリー記録ポイントをお知らせしない	ポイントは記録されましたか。	45
	反対方向などから走行していませんか。	45
ハイブリッド型 L.S.C. 機能が働かない	ハイブリッド型 L.S.C. 機能は ON になっていますか。	29 ～ 31、40
	ムービングセンサーの設定は正しいですか。	42
ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点がある	ディスプレイ特有の現象であり、故障ではありません。	
ディスプレイに表示跡や色むらがある	ディスプレイの特性によるものです。不良や故障ではありません。	
無線を受信しない	受信設定が「解除」になっていませんか。	29 ～ 31
	無線は常に発信されているわけではありません。	4 ～ 5、25 ～ 27
カーロケーターを受信しない	カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性が あります。	4 ～ 5、26
	カーロケーターシステムが導入されていない地域の可能性が あります。	4 ～ 5、26
350.1MHz を受信しない	デジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。	4 ～ 5、25
	350.1MHz の受信電波が弱いと、音声が聞こえない場合 があります。	4 ～ 5、25
レッカー無線を受信しない	DC12V は入力されていますか。	15 ～ 16
	本製品搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県、愛知県内の一部地域で使用されているものです。レッカー無線を搭載していない車両の可能性が あります。	4 ～ 5、26
	走行速度が約 50km/h 以上で走行していませんか。	26
警察活動無線、署活系無線、警察電話、警備無線、消防無線、消防ヘリテレ無線、新救急無線、JH 無線を受信しない	DC12V は入力されていますか。	15 ～ 16
レッカー無線以外の業務無線を受信する	レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。	4 ～ 5、26、44
各種無線を受信したままになる	お車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。	
	－対処方法－ ・ワンスkip ・スキップメモリー	44 44

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と思ったら

アフターサービスについて

保証書について

○保証書（別途添付）

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

○保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。



修理・点検を依頼される場合の注意

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。

お客様が設定した内容や、記録した位置データ等は全て消去されます。あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき

（保証書に販売店名、日付印がないと無効になります）

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

- ・ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点が出て、保証対象になりません。
- ・焼き付けや色むらなどによるディスプレイの修理は保証対象になりません。

○保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

リモコンの紛失について

万ーリモコンを紛失された場合は、お買い求めになった販売店までご相談ください。

GPSデータの更新について

本製品は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあった場合、その内容を反映させたデータを1年に2回を目安として更新用データを作成しております。

また、更新用データの作成につきましては、製品の仕様や更新用データの都合などにより、更新用データの作成を終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

参照 GPSデータ更新機能（●53ページ）

データ更新は選べる3プラン【入会金・年会費不要】

○ダウンロードお家で更新プラン

パソコンを使用して更新データをダウンロード

1ダウンロード ￥2,100（税込）

専用サイト（<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>）にアクセスします。手順にしたがってmicroSDカードにコピーします。（市販のカードリーダー／ライターなどをご利用ください。）

専用サイトの説明、注意事項をよく読み、手順にしたがってGPSデータを更新します。



microSDカードは別売です。

○microSDカード購入ラクラク更新プラン

更新用データ入りカードを弊社お客様相談窓口または販売店で購入

1枚 ￥4,725（税込）

○送って更新プラン

製品を弊社に送っていただき弊社で更新を実施

1回 ￥5,250（税込）

お買い求めになった販売店、弊社お客様相談窓口までご相談ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態になってしまう場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ プランによっては、別途送料が必要です。

※ お客様所有のmicroSDカード（記憶媒体）へのデータ書き込みサービスは一切おこなっておりません。

個人情報に関して

本製品に対するお問い合わせ、修理などを依頼される場合の個人情報の利用目的について

1. 当社製品・サービスなどに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
2. 製品の企画、開発、販売促進、営業活動に、お客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

当社でのお客様の個人情報取扱いについては当社ホームページでご確認いただけます。

<http://www.cellstar.co.jp/>

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い

本製品でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報ございましたら、当社カスタマーサービスまたは、e-メールなどでお知らせ頂いただけますようお願いいたします。

カスタマーサービス ☎ 0120-75-6867

(携帯電話・PHS よりおかけの方は、TEL. 046-275-6867)

e-メール : ranavi@cellstar.co.jp / ホームページ : www.cellstar.co.jp

※ 携帯電話などから e-メールでの情報提供をしていただき、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jp をドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

各地域のお客様相談窓口一覧

■北海道地区	TEL.011-882-1225 (代)	FAX.011-881-7251
北海道セルスター工業株式会社	〒004-0843	札幌市清田区清田三条 1-3-1
■東北地区	TEL.022-218-1100 (代)	FAX.022-218-1110
セルスター工業(株) 仙台営業所	〒981-3117	宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158
■関東地区	TEL.046-273-1100 (代)	FAX.046-273-1106
セルスター工業(株) 関東営業所	〒242-0002	神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
■中部・北陸地区	TEL.052-798-6325 (代)	FAX.052-798-6315
中部セルスター工業株式会社	〒463-0021	愛知県名古屋市守山区大森 4-1002
■関西・中国・四国地区	TEL.072-722-1880 (代)	FAX.072-722-5575
関西セルスター工業株式会社	〒562-0004	大阪府箕面市牧落 3-8-7
■九州地区	TEL.092-552-5252 (代)	FAX.092-552-5300
九州セルスター工業株式会社	〒811-1347	福岡県福岡市南区野多目 1-11-8
■セルスター工業株式会社		
カスタマーサービス	フリーダイヤル 0120-75-6867	TEL 046-275-6867
	〒242-0002	神奈川県大和市つきみ野 7-17-32

● 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら？

アフターサービス
について

仕様・定格

本体

GPS 受信部

受信方式 : 12ch パラレル受信

受信周波数 : 1575.42MHz

レーダー受信部

受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式

受信周波数 : Xバンド、Kバンド

レシーバー部

受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式

受信周波数 : UHF 330 ~ 470MHz 帯、VHF 154 ~ 162MHz 帯

ディスプレイ

表示方式 : 2.2 インチ IPS 液晶

電源電圧 : 内蔵バッテリー /DC3.6V、DCコード /DC12V

動作温度範囲 : -10℃ ~ +65℃

本体サイズ : 72 (W) × 104 (D) × 49 (H) mm (突起物含まず)

リモコン

使用電池 : リチウム電池 /CR2032 × 1

動作温度範囲 : -10℃ ~ +65℃

本体サイズ : 32 (W) × 13 (D) × 66 (H) mm (突起物含まず)

AC アダプター

入力電圧 : AC100V、50/60Hz

入力容量 : 4.9VA

電圧出力 : DC12V、150mAh

本体サイズ : 50 (W) × 37.5 (D) × 72 (H) mm (突起部除く)

コード長 : 1.8m

約 16,200 件、31 種類の高精度 GPS データを搭載

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| ・ 取締りポイント 約 2,800 箇所 | ・ 制限速度切り替わりポイント 約 1,020 箇所 |
| ・ 速度取締機 (7 種類) 約 720 箇所 | ・ 事故多発エリア 約 1,750 箇所 |
| ・ オービス制限速度 約 720 箇所 | ・ 駐車禁止エリア (重点、最重点) 約 950 箇所 |
| ・ N システム 約 1,910 箇所 | ・ その他 |

※ 改良などのため、本製品の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

オプション品 ※別途お買い求めください。

● RO-101 電源スイッチ付 DC コード (ストレートタイプ)

● RO-102 電源スイッチ付 DC コード (カータイプ)

Copyright © 2008 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstar および ASSURA は、セルスター工業株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した大豆油インクを使用しております。



全国自動車用品工業会会員

<http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 TEL.046-273-1100 (代) FAX.046-273-1106

PP-D327MN 2008.7